アーキフィット（ミニ）

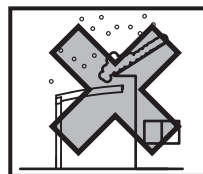
取付説明書　ー 基本・縦連棟・M合掌・独立テラスタイプ ー

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
●積雪（新雪）20cmを超えない地域に設置してください。
●建物の屋根から雪の落雪を直接受けない位置に設置してください。
●強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
●施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
●給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
●給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
●傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
●独立テラスタイプの場合、躯体との距離は当社指示寸法を守って施工してください。

＜基礎工事について＞

⚠注 意

●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（軟弱な地盤等）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
●モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
●モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

＜施工上のご注意＞

⚠注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●柱の移動は当社指定範囲内にしてください。
●「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
●ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
●製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
●水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
●シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

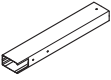
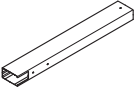
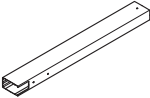
●独立テラスタイプは、躯体に屋根を固定しない構造です。
●躯体すき間ふさぎ材は、雨の吹き込みを防ぐためのものであり、外壁をつたう水を防ぐことはできません。
●躯体すき間ふさぎ材付きの場合、住宅外壁の色・種類により、接触部の汚れが目立ちやすい場合があります。

＜施工の後に＞

⚠注 意

●ボルト、ネジを増し締めしてください。
●取扱説明書は施主様にお渡しください。

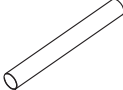
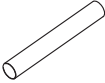
INDEX

1　梱包明細表……4
2　基本寸法と各部名称……10
　1．各部名称……10
　2．基本寸法……11
3　基本の施工方法……14
　1．基礎の施工……14
　2．柱と梁の取付け……16
　3．前枠・母屋・後枠の取付け……18
　4．母屋キャップ・側枠・アーチの取付け……21
　5．屋根材の取付け……23
　6．竪樋の取付け……24
4　M合掌の施工方法……25
　1．基礎の施工……25
　2．本体の組立て……26
5　縦連棟の施工方法……28
　1．基礎の施工……28
　2．本体の連結……30

D526_201104A

1　梱包明細表

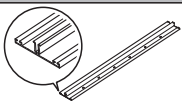
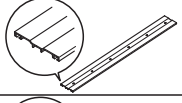
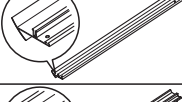
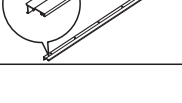
【1】部品セット

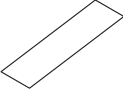
名　称	略　図	員　数											
		基本仕様						プラス仕様					
		サイクルポート				独立テラス		サイクルポート				独立テラス	
		W18・21				W12	W18・21	W18・21				W12	W18・21
		L14	L22・29	L50	L57	L29・36		L14	L22・29	L50	L57	L29・36	
前枠コーナーキャップR		−	1	1	1	1	1	−	−	−	−	−	−
前枠コーナーキャップL		−	1	1	1	1	1	−	−	−	−	−	−
前枠コーナーキャップR プラス		−	−	−	−	−	−	−	1	1	1	1	1
前枠コーナーキャップL プラス		−	−	−	−	−	−	−	1	1	1	1	1
後枠コーナーキャップR		−	1	1	1	1	1	−	−	−	−	−	−
後枠コーナーキャップL		−	1	1	1	1	1	−	−	−	−	−	−
後枠コーナーキャップR プラス		−	−	−	−	−	−	−	1	1	1	1	1
後枠コーナーキャップL プラス		−	−	−	−	−	−	−	1	1	1	1	1
梁キャップ（ミニ用）		1	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2
母屋キャップR		−	2	2	2	1	2	−	2	2	2	1	2
母屋キャップL		−	2	2	2	1	2	−	2	2	2	1	2
柱キャップ（ミニ用）		1	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2
柱梁カバー（ミニ用）		1	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2
アンカー棒φ8×200		1	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

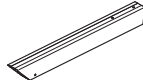
【1】部品セット（つづき）

名称	略図	員数											
		基本仕様						プラス仕様					
		サイクルポート				独立テラス		サイクルポート				独立テラス	
		W18・21				W12	W18・21	W18・21				W12	W18・21
		L14	L22・29	L50	L57	L29・36		L14	L22・29	L50	L57	L29・36	
穴隠しシール　φ10		8	16	16	16	12	16	8	16	16	16	12	16
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
穴ふさぎキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
アタッチメントパッキン		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
プッシュボタン　φ9.5用		2	4	4	4	4	4	2	4	4	4	4	4
92°エルボ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
接着剤		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
パネル緩衝材		8	16	28	32	10	20	8	16	28	32	10	20
ボルトキャップ		–	–	–	–	8	8	–	–	–	–	8	8
【1-1】M8×20 六角ボルト		7	14	14	14	14	14	7	14	14	14	14	14
【1-2】φ5×16 トラスタッピンネジ3種		3	6	6	6	6	6	3	6	6	6	6	6
【1-3】φ4×10 ワッシャーヘッドネジ		37	86	134	149	57	103	37	86	134	149	57	103
【1-4】φ4×13 ナベドリルネジ		12	25	38	3	23	29	12	25	38	3	23	29
【1-5】φ5×13 ナベドリルネジ		6	13	13	52	8	13	6	13	13	52	8	13
取付説明書 (D526)	—	–	1	1	1	1	1	–	1	1	1	1	1
取扱説明書 (UD095)	—	–	1	1	1	1	1	–	1	1	1	1	1

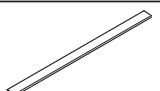
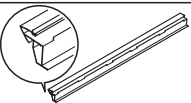
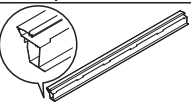
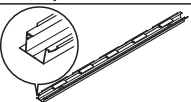
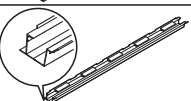
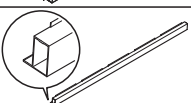
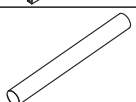
■梱包明細表（つづき）

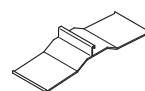
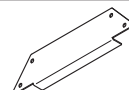
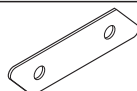
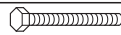
【2】柱セット

名　称	略　図	員数 1本入	2本入	ロング1本入	ロング2本入	H28
標準柱（ミニ用）　L=2555		1	2	ー	ー	ー
ロング柱（ミニ用）　L=3055		ー	ー	1	2	ー
H28柱（ミニ用）　L=3455		ー	ー	ー	ー	1

【3】竪樋セット

名　称	略　図	員数 L3100	L1000
竪樋　L＝3100　φ40		1	ー
竪樋　L＝1000　φ40		ー	1

【4】ブラケットセット

名　称	略　図	員数 1本入	2本入
ブラケット（ミニ用）		1	2

【5】幅セット

名　称	略　図	員数 基本仕様 L22	L29	L36	L50	L57	プラス仕様 L22	L29	L36	L50	L57
アーチ		2	3	4	6	7	2	3	4	6	7
アーチカバー		2	3	4	6	7	2	3	4	6	7
側枠		2	2	2	2	2	ー	ー	ー	ー	ー
側枠 プラス		ー	ー	ー	ー	ー	2	2	2	2	2
側枠カバー		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

【6】屋根材セット

名　称	略　図	員数 1枚入	3枚入	4枚入
屋根材		1	3	4

【7】梁セット

名　称	略　図	員　数	
		1本入	2本入
梁（ミニ用）		1	2

【8】長さセット

名　称	略　図	員　数															
		基本仕様								プラス仕様							
		W12		W18・21						W12		W18・21					
		L29	L36	L22	L29	L36	L50	L57	L14	L29	L36	L22	L29	L36	L50	L57	L14
パネル受け		4	5	3	4	5	7	8	2	4	5	3	4	5	7	8	2
前枠		1	1	1	1	1	1	1	1	–	–	–	–	–	–	–	–
前枠 プラス		–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	1	1	1	1	1	1
後枠		1	1	1	1	1	1	1	1	–	–	–	–	–	–	–	–
後枠 プラス		–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	1	1	1	1	1	1
母屋		1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2
竪樋		–	1	–	–	1	1	1	–	–	1	–	–	1	1	1	–

【9】合掌部品セット

名　称	略　図	員　数
合掌取付材		5
合掌端部カバー		2
合掌金具（ミニ用）		4
合掌金具スペーサー		8
【9-1】 M8×90六角ボルト		8
【9-2】 M8平座金		16
【9-3】 M8バネ座金		8
【9-4】 M8六角ナット		8
【9-5】φ4×13 ナベドリルネジ		5
【9-6】φ4×20ナベネジ 2種		4

■梱包明細表（つづき）

【10】合掌棟木セット

名　称	略　図	員　数
合掌棟木		1

【11】連棟用幅セット

名　称	略　図	員　数				
		L14	L29	L36	L50	L57
アーチ		2	4	5	7	8
アーチカバー		2	4	5	7	8

【12】連棟部材セット

名　称	略　図	員　数	
		W12	W18・21
前枠スリーブ		1	1
後枠スリーブ		1	1
母屋スリーブ		1	2
母屋スリーブスペーサー		2	4
【12-1】φ4×13ナベドリルネジ（D=8.2）		26	35
【12-2】φ4×16サラドリルネジ		2	4

【13】躯体すき間ふさぎ材セット　オプション

名　称	略　図	員　数	
		L29	L36
すき間ふさぎ材		1	1
すき間ふさぎ材取付け金具		5	6
【13-1】φ4×16ナベドリルネジ		5	6

【14】アタッチメントセット　オプション

名　称	略　図	員　数
雨樋アタッチメント		1
雨樋穴ふさぎキャップ		1
アタッチメントパッキン		2
【14-1】φ4×14トラスネジ		4

【15】ドレンエルボセット　オプション

名　称	略　図	員　数
ドレンエルボ　φ40用		1

【16】エルボセット　オプション

名　称	略　図	員　数
92°エルボ　φ40用		1

【17】でんでんセット　オプション

名　称	略　図	員　数
でんでん		2
【17-1】φ4×13ナベドリルネジ		2

2　基本寸法と各部名称

1. 各部名称

図1-1　柱梁取付け詳細

D526_201104A

すき間ふさぎ材

すき間ふさぎ材
取付け金具

【13-1】φ4×16
ナベドリルネジ

前枠

左側

図1-2　躯体すき間ふさぎ材付きの場合

すき間ふさぎ材

すき間ふさぎ材
取付け金具

梁

前枠

100±10
(取付金具~躯体間)

108±10
(前枠先端~躯体間)

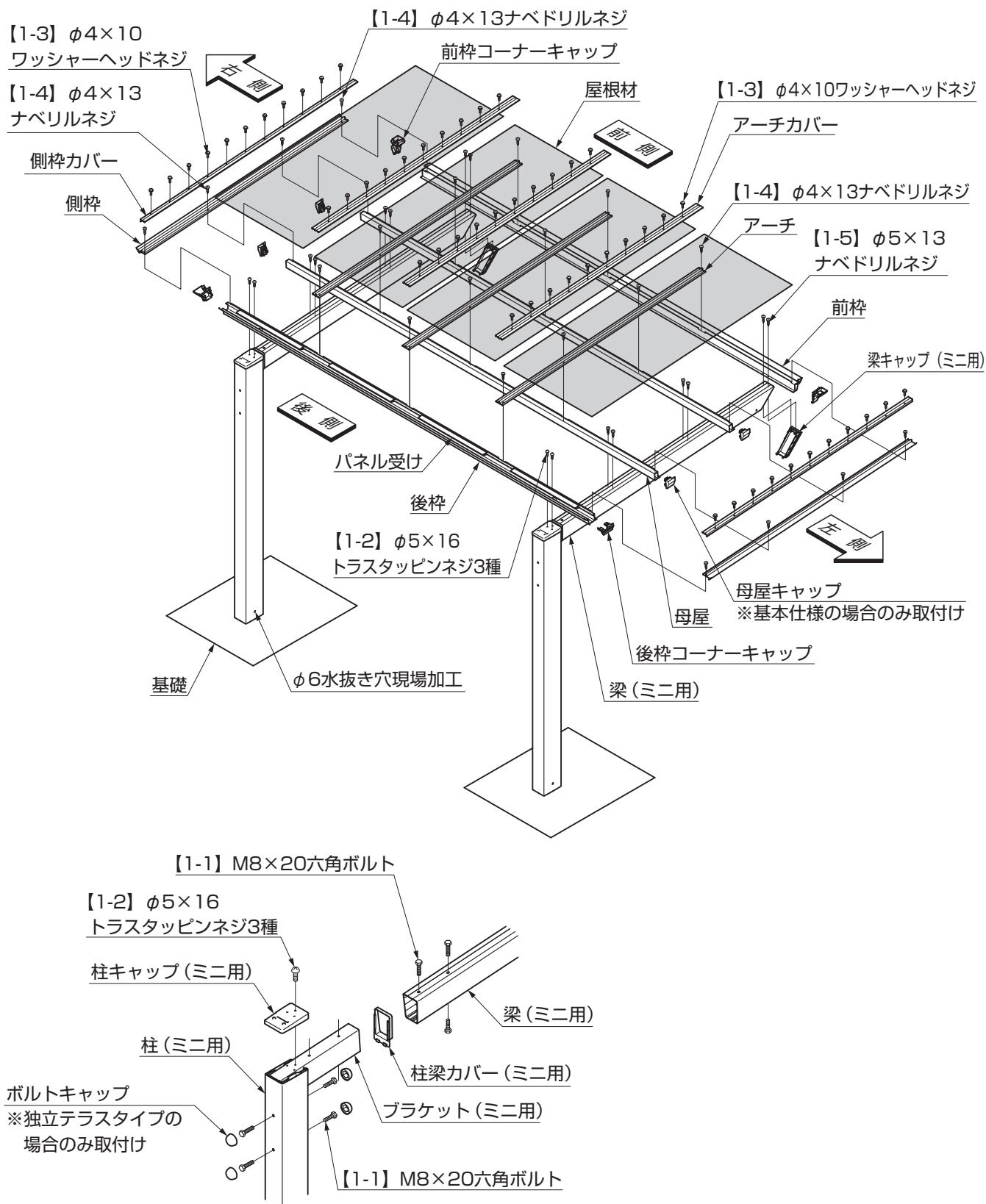
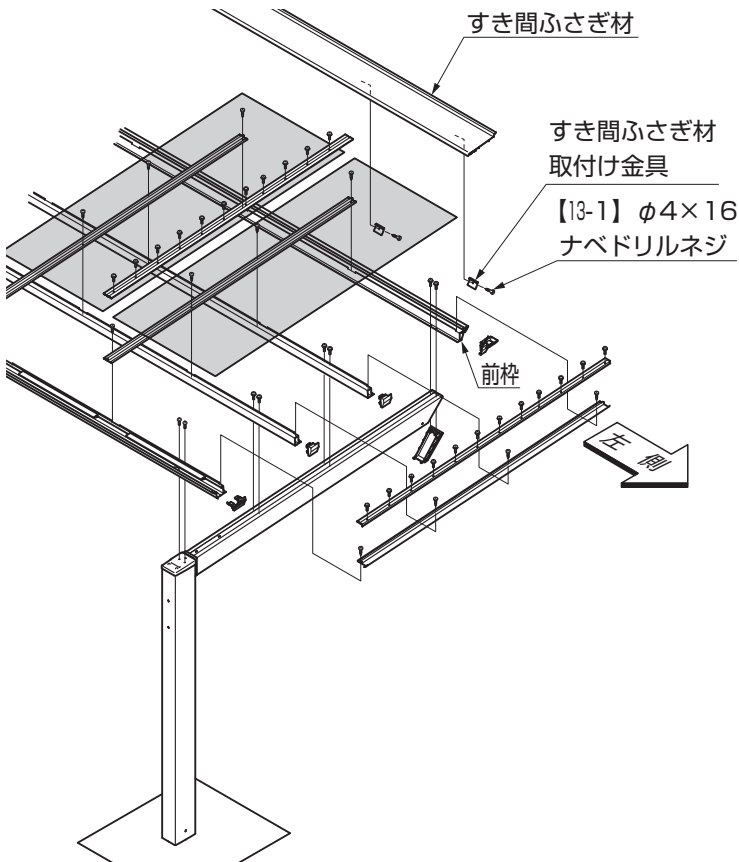
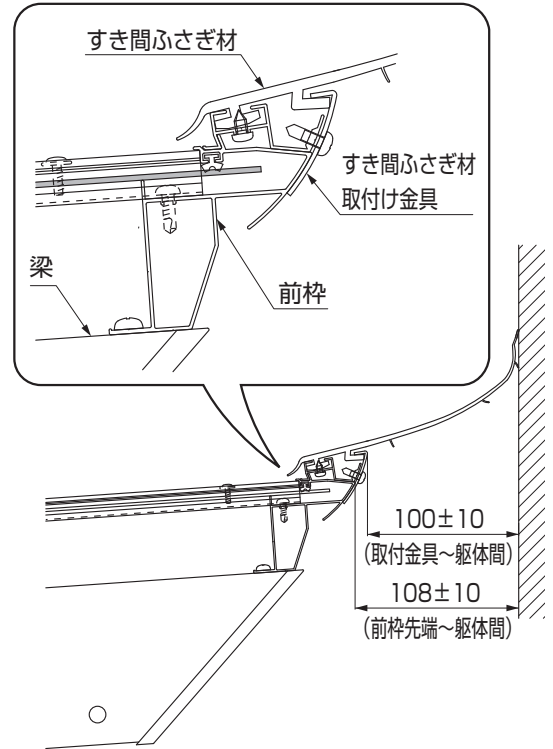



図1-3

2. 基本寸法

2-1 間口寸法 ※図は標準柱仕様を示します。

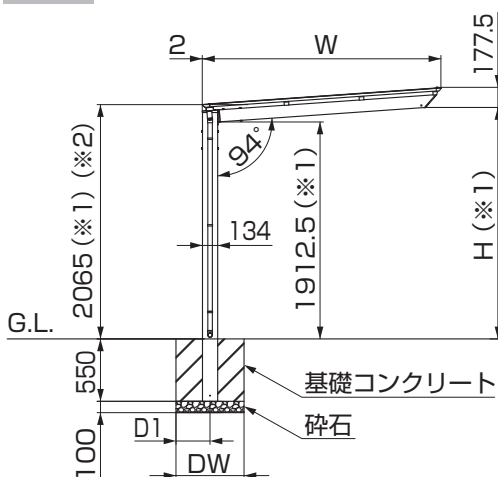



図2-1　独立テラスタイプの場合

表2-1

サイズ	W	H(※1)	DW	D1
W12	1203.2	1977.6	500	250
W18	1802.7	2019.5	600<700>	300
W21	2102	2040.4	600<700>	300

※<　>内寸法はL57の場合を示します。

補足

- ロング柱は+500、H28柱は+900になります。(※1)
- プラス仕様は1mmマイナスの寸法になります。(※2)
- 躯体すき間ふさぎ材付きの場合、「2　基本寸法と各部名称　1. 各部名称　図1-3」の寸法にしてください。(※3)

2.（つづき）

2-2 奥行き寸法 ※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

（1）L22、29型

※柱を内側に移動することはできません。

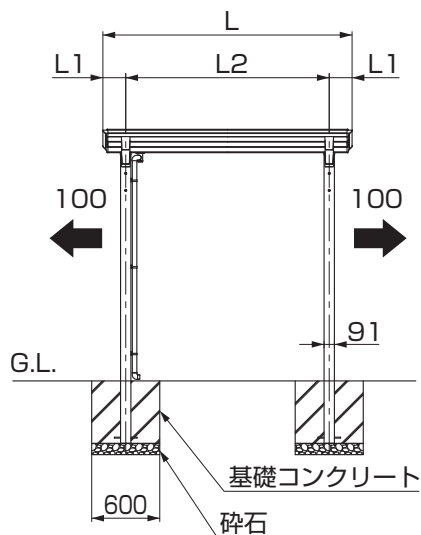



図2-2

表2-2

サイズ	L		L1		L2
	基本仕様	プラス仕様	基本仕様	プラス仕様	
L22	2196.8	2205.6	201.4	205.8	1794
L29	2902.8	2911.6	201.4	205.8	2500

（2）L36、50、57型

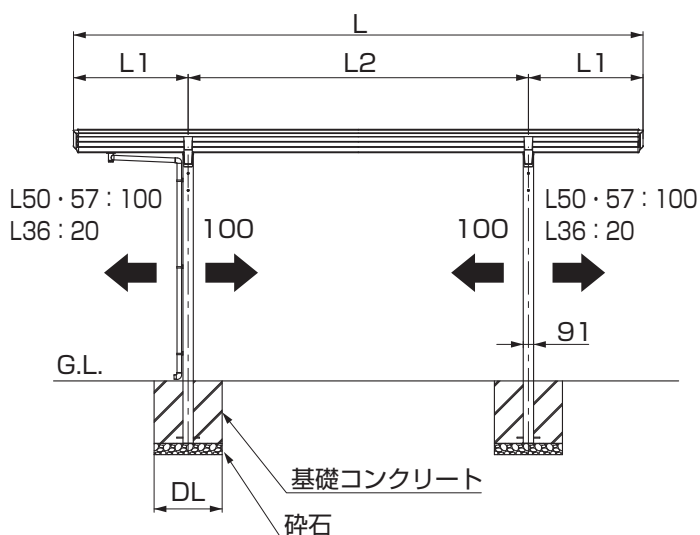



図2-3

表2-3

サイズ	L		L1		L2	DL
	基本仕様	プラス仕様	基本仕様	プラス仕様		
L36	3608.8	3617.6	504.4	508.8	2600	600
L50	5020.8	5029.6	1010.4	1014.8	3000	600
L57	5726.8	5735.6	1213.4	1217.8	3300	700

（3）L14延長型

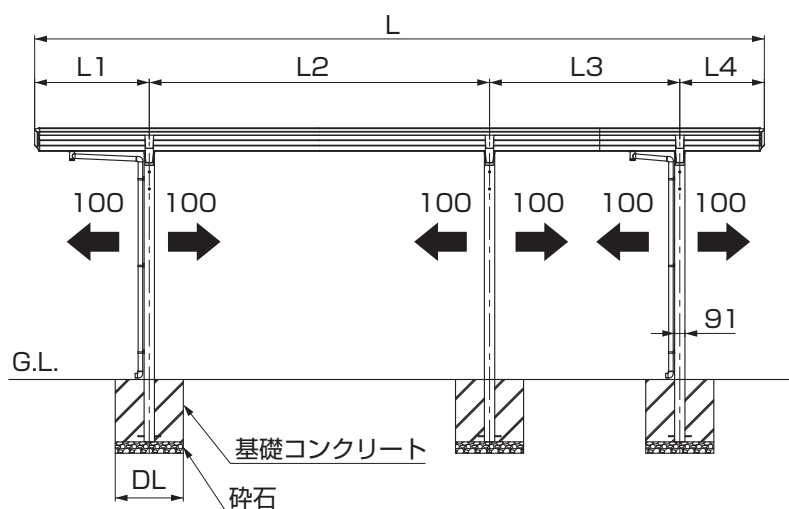



図2-4

表2-4

サイズ	L		L1		L2	L3	L4		DL
	基本仕様	プラス仕様	基本仕様	プラス仕様			基本仕様	プラス仕様	
L50+L14	6432.8	6441.6	1010.4	1014.8	3000	1677	745.4	749.8	600
L57+L14	7138.8	7147.6	1213.4	1217.8	3300	1880	745.4	749.8	700

（4）縦連棟

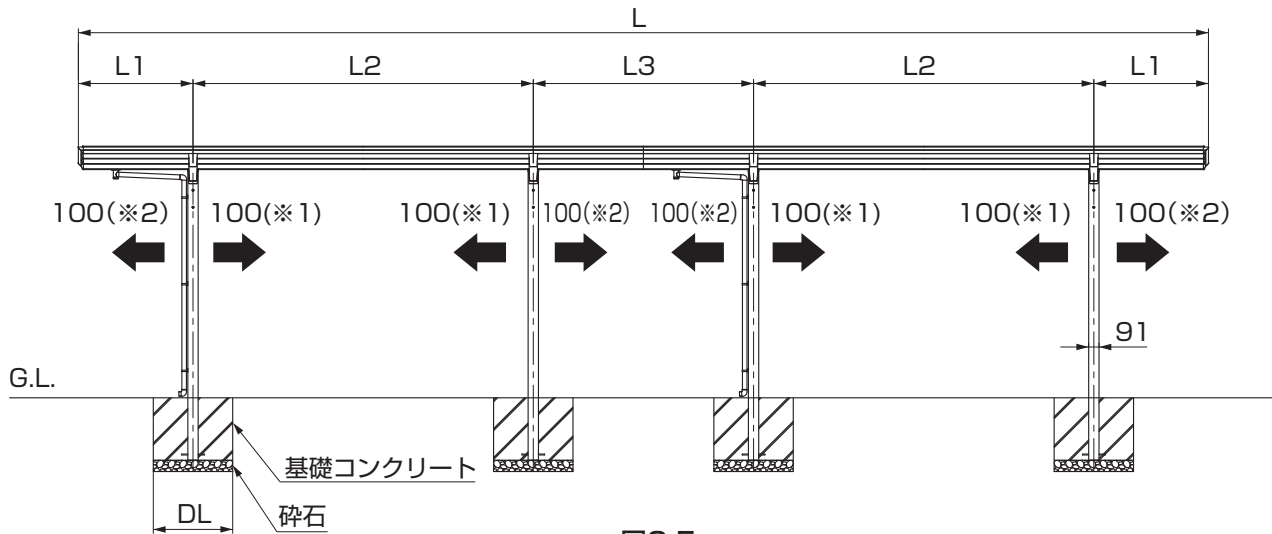



図2-5

表2-5

<table>
<tr><th rowspan="2">サイズ</th><th colspan="2">L</th><th colspan="2">L1</th><th rowspan="2">L2</th><th rowspan="2">L3</th><th rowspan="2">DL</th></tr>
<tr><th>基本仕様</th><th>プラス仕様</th><th>基本仕様</th><th>プラス仕様</th></tr>
<tr><td>L29+L29</td><td>5726.8</td><td>5735.6</td><td>201.4</td><td>205.8</td><td>2500</td><td>324</td><td>600（※3）</td></tr>
<tr><td>L29+L36</td><td>6432.9</td><td>6441.7</td><td>L29側 201.4
L36側 504.4</td><td>L29側 205.8
L36側 508.8</td><td>L29側 2500
L36側 2600</td><td>627</td><td>600</td></tr>
<tr><td>L36+L36</td><td>7138.8</td><td>7147.6</td><td>504.4</td><td>508.8</td><td>2600</td><td>930</td><td>600</td></tr>
<tr><td>L50+L50</td><td>9962.8</td><td>9971.6</td><td>1010.4</td><td>1014.8</td><td>3000</td><td>1942</td><td>600</td></tr>
<tr><td>L57+L57</td><td>11374.8</td><td>11383.6</td><td>1213.4</td><td>1217.8</td><td>3300</td><td>2348</td><td>700</td></tr>
</table>

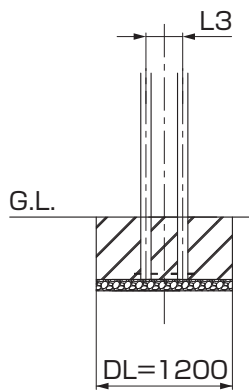



図2-6
連棟部（L29＋L29の場合）

補 足

●L29型の場合、柱を内側に移動することはできません。（※1）
●L36型の場合、柱を外側に移動できる寸法は20mmになります。（※2）
●L29＋L29の連棟の場合、連棟部の基礎は図2-6のようになります。（※3）

2-3 間口寸法　M合掌　※図は標準柱仕様を示します。

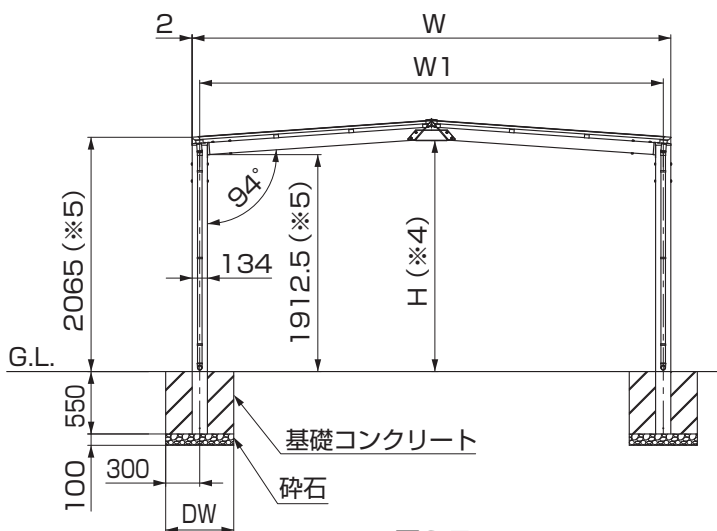



図2-7

表2-6

サイズ	W	W1	H（※4）	DW
W18+W18	3620.9	3488.4	2017.4	600<700>
W18+W21	3920.0	3786.0	2017.4	600<700>
W21+W21	4219.5	4087.0	2036.5	600<700>

※<　>内寸法はL57の場合を示します。

補 足

●ロング柱は＋500、H28柱は＋900になります。（※4、※5）

ポイント

●W18+W21のW21側の柱は－21になります。（※5）

3　基本の施工方法

1. 基礎の施工

1-1　基礎位置の墨出し

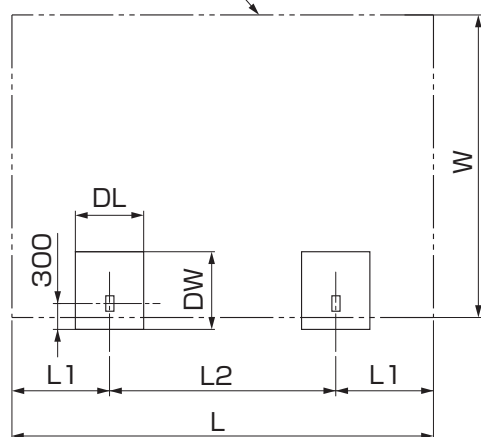



図1-1　サイクルポートタイプの場合

表1-1　L寸法（サイクルポートタイプ）

サイズ	L		L1		L2	DL
	基本仕様	プラス仕様	基本仕様	プラス仕様		
L22	2196.8	2205.6	201.4	205.8	1794	600
L29	2902.8	2911.6	201.4	205.8	2500	600
L50	5020.8	5029.6	1010.4	1014.8	3000	600
L57	5726.8	5735.6	1213.4	1252.8	3300	700

表1-2　W寸法（サイクルポートタイプ）

サイズ	W	DW
W18	1802.7	600<700>
W21	2102	600<700>

※<　>内寸法はL57の場合を示します。

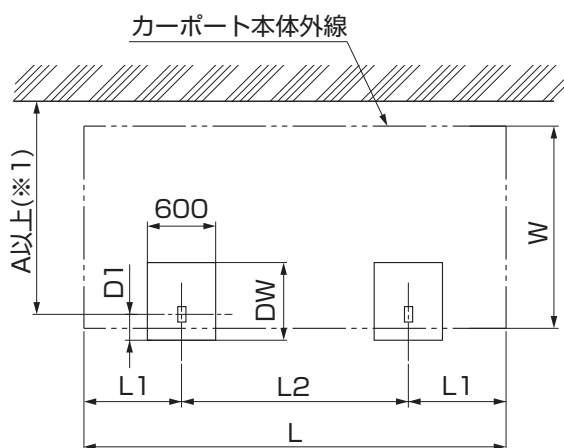



図1-2　独立テラスタイプの場合

表1-3　L寸法（独立テラスタイプ）

サイズ	L		L1		L2
	基本仕様	プラス仕様	基本仕様	プラス仕様	
L29	2902.8	2911.6	201.4	205.8	2500
L36	3608.8	3617.6	504.4	508.8	2600

表1-4　W寸法（独立テラスタイプ）

サイズ	W	A(※1)	DW	D1
W12	1203.2	1233	500	250
W18	1802.7	1836	600	300
W21	2102	2135	600	300

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

ポイント

●Aはカーポート本体前枠先端～躯体間の寸法を100mmとした場合の寸法です。
●Aの位置出しは、躯体の凹凸の最も出っ張った部分から測定してください。前枠先端～躯体間の寸法が、100mm以上とならない場合があります。
●躯体すき間ふさぎ材付きの場合、「2　基本寸法と各部名称　1. 各部名称　図1-3」で示す寸法関係になるよう柱を建ててください。（※1）

補 足

●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
●L22、29型の場合、柱を内側に移動することはできません。
●L36型の場合、柱を外側に移動できる寸法は20mmになります。

1-2 基礎寸法

（1）偏芯基礎部材を使用の場合

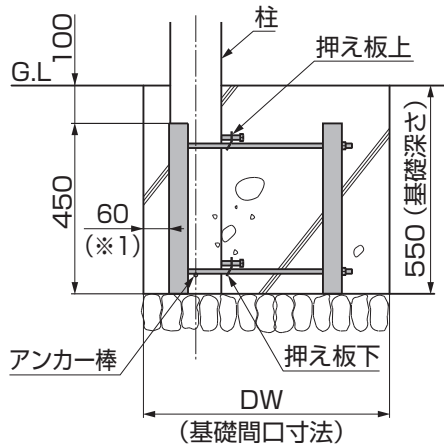



図1-3

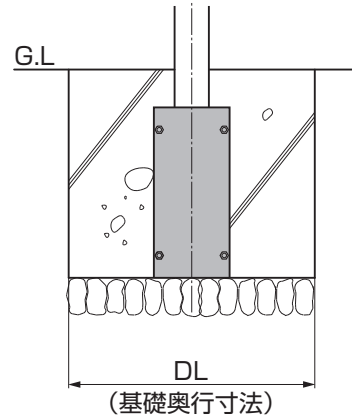



図1-4

表1-2

サイズ	DW			DL		
	W12	W18	W21	W12	W18	W21
L22、29 L36、50	450	450	500	500	500	600
L57	－	450	500	－	500	650

ポイント

●タテ材Aの外面から基礎端面の寸法です。（※1）

（2）土間コンクリート併用基礎を使用の場合

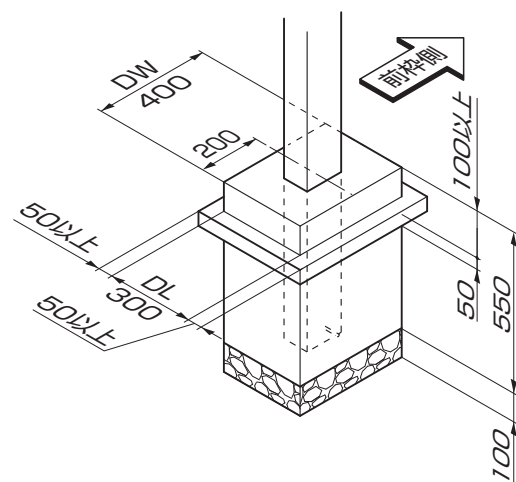
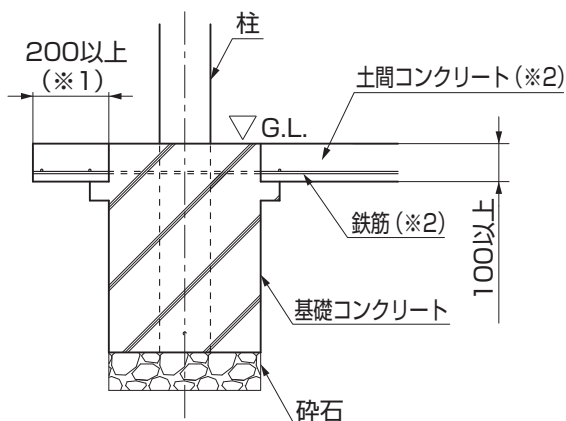
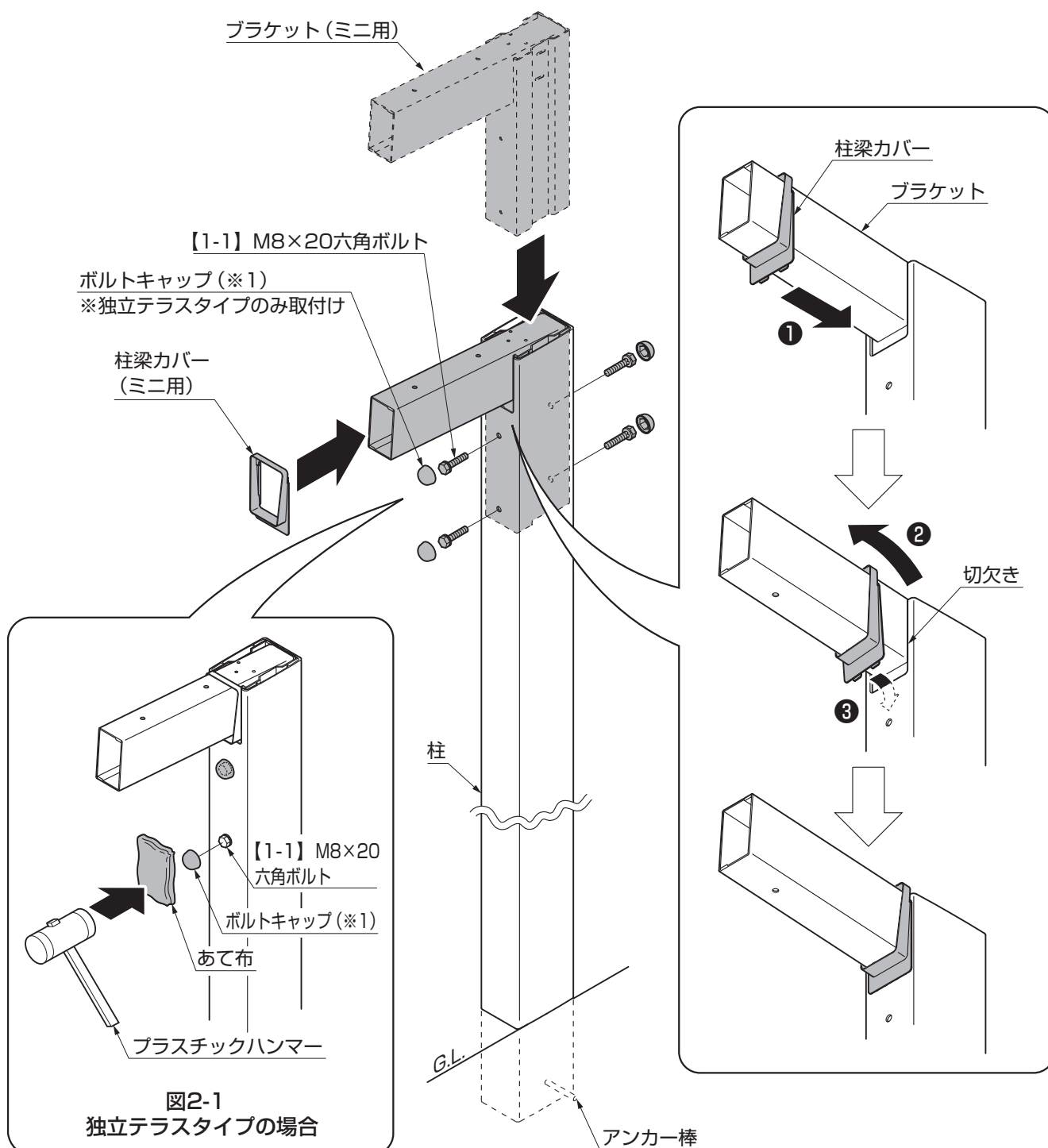



図1-5　土間コンクリート併用基礎の納まり

ポイント

●基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。（※1）
●土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。（※2）

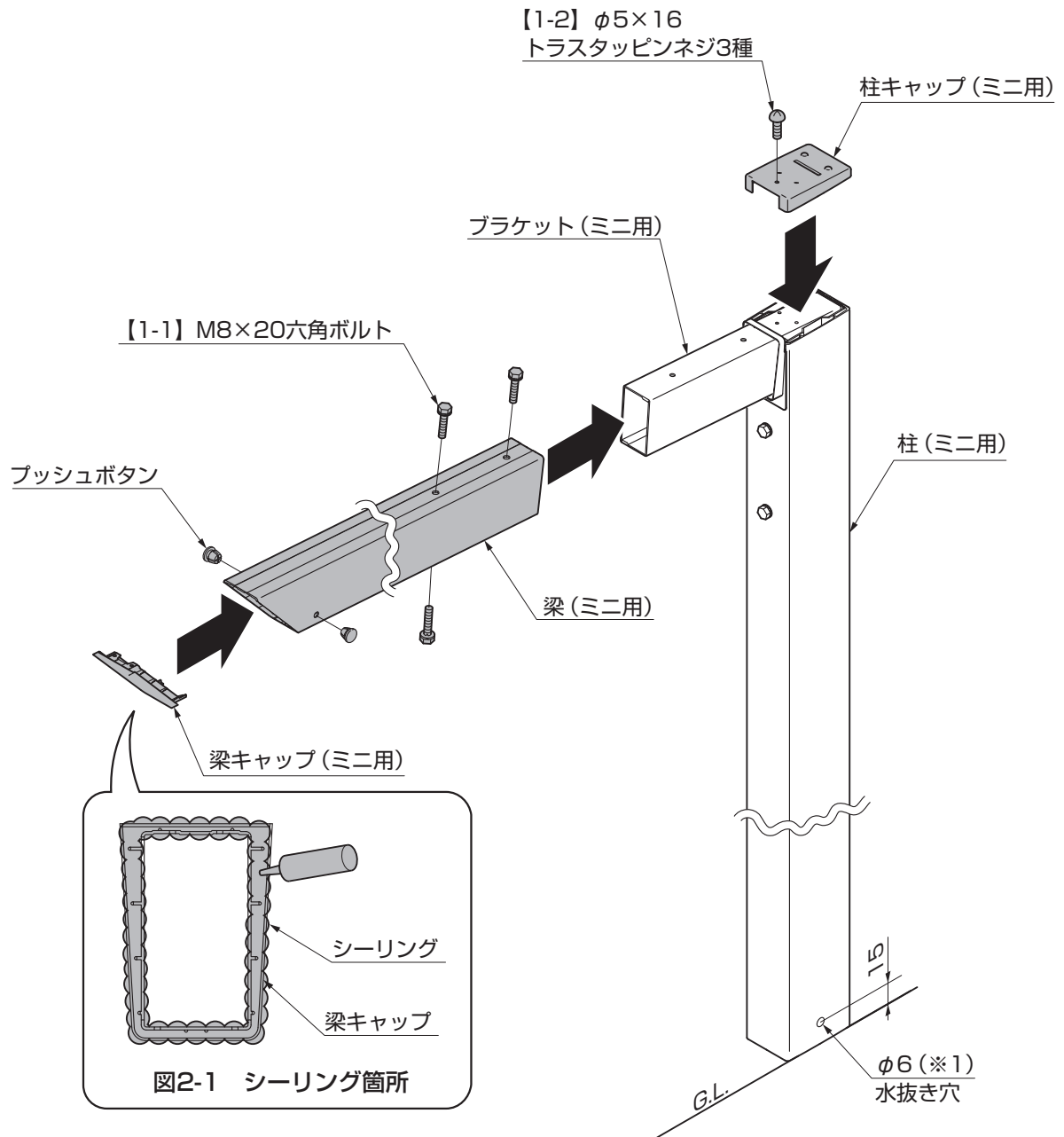
2. 柱と梁の取付け

図2-1
独立テラスタイプの場合

①アンカー棒を柱に差込んでください。
②ブラケットを柱に差込んでください。
③柱梁カバーをブラケットに差込み、柱の切欠き部にはめ込んでください。
④ブラケットを柱に【1-1】で固定してください。
⑤独立テラスタイプの場合は、ボルトキャップ（※1）を【1-1】にはめ込んでください。（図2-1参照）

補 足

●ボルトキャップはあて布の上からプラスチックハンマーなどで叩き、はめ込んでください。（図2-1参照）

【1-2】φ5×16
トラスタッピンネジ3種
柱キャップ（ミニ用）
ブラケット（ミニ用）
【1-1】M8×20六角ボルト
プッシュボタン
柱（ミニ用）
梁（ミニ用）
梁キャップ（ミニ用）
シーリング
梁キャップ
15
φ6（※1）
水抜き穴
G.L.

図2-1　シーリング箇所

⑥梁をブラケットに【1-1】で取付けてください。
⑦柱キャップを柱梁カバーとブラケットに【1-2】で取付けてください。
⑧梁キャップにシーリングをし、梁にはめ込んでください。
⑨プッシュボタンを梁に取付けてください。

ポイント

●合掌仕様、サポート仕様の場合は、 プッシュボタンの取付けは不要です。

注 意

●「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付ける柱は、ラベルを貼付けていないものを使用してください。
●柱のG.L.付近（地上側）にφ6水抜き穴をあけてください。（※1）柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

3. 前枠・母屋・後枠の取付け

3-1 すき間ふさぎ材の取付け オプション

ポイント

●連棟の場合は、すき間ふさぎ材の切詰めが必要です。「5　縦連棟の施工方法　2. 本体の連結　2-3 すき間ふさぎ材の加工」を参照してください。

（1）前枠の位置決め

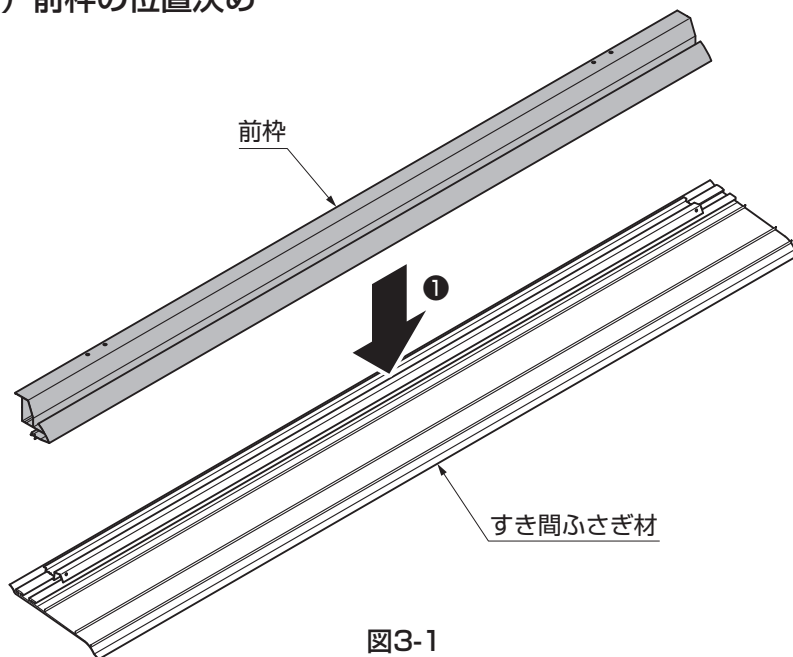



図3-1

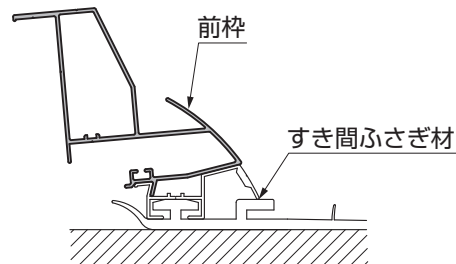



図3-2

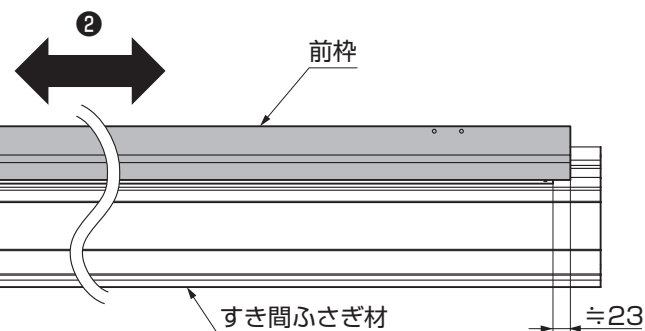
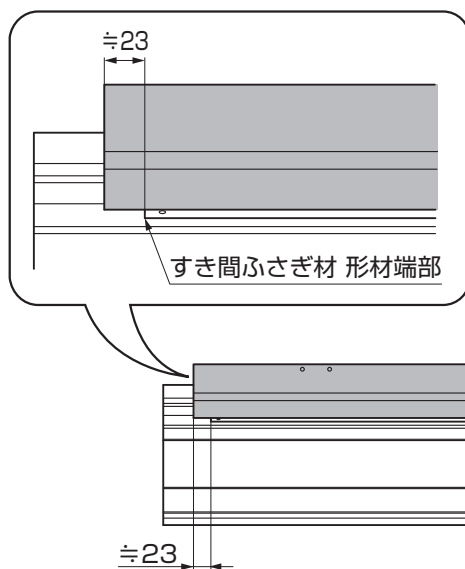



図3-3

①すき間ふさぎ材を平らな面に置いてください。
②前枠をすき間ふさぎ材に乗せ、すき間ふさぎ材の形材端部と前枠の端部との位置が約23mmになるように位置合わせをしてください。

補足

●製品の特性上、端部小口の仕上がりにバラつきがあります。性能上問題ありませんが、カッターなどで切断して整えることができます。

（2）すき間ふさぎ材取付け金具の取付け

前枠
すき間ふさぎ材取付け金具
すき間ふさぎ材
【13-1】φ4×16 ナベドリルネジ
φ3.5下穴
引っ掛ける

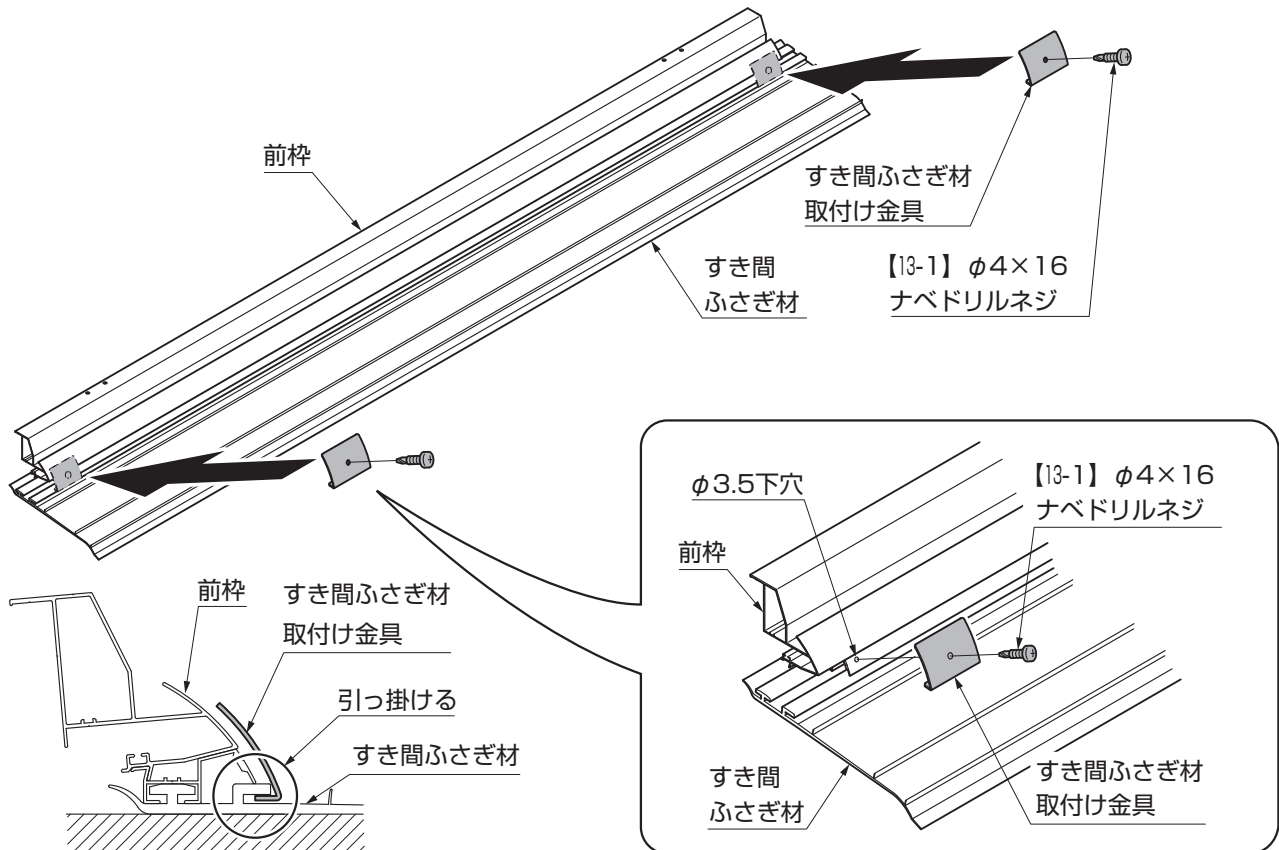



図3-4　端部への取付け

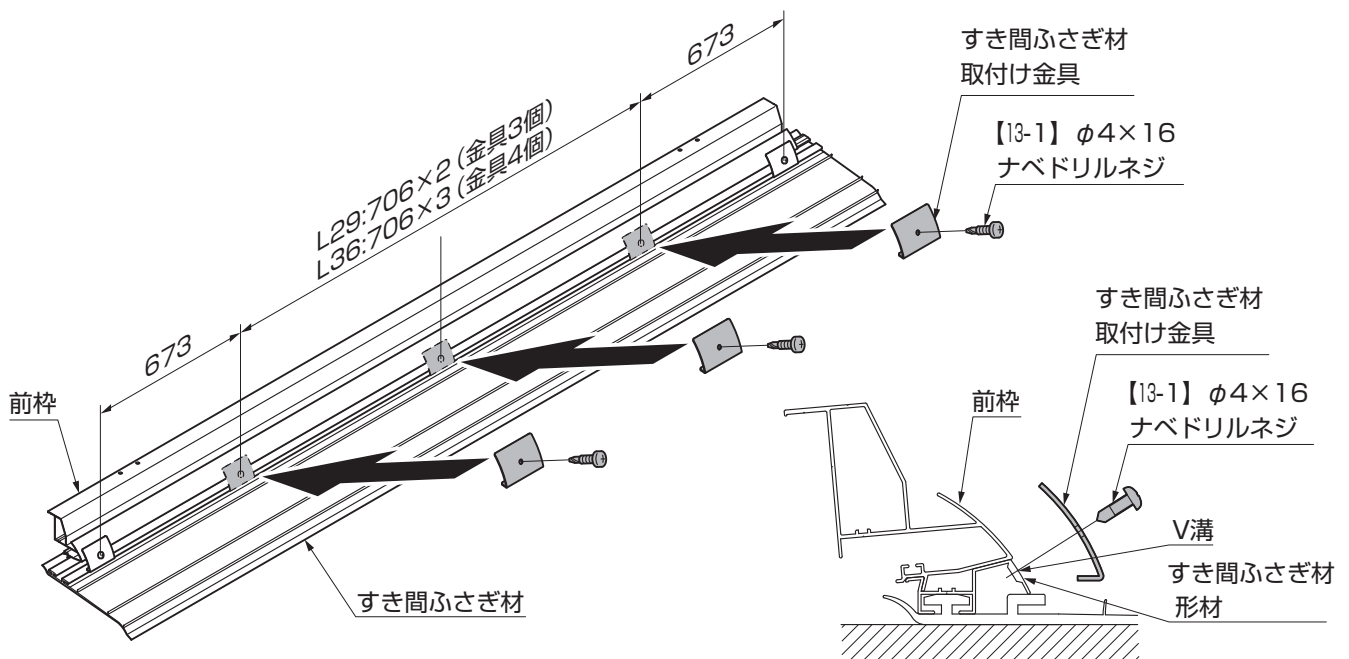



図3-5　中間部への取付け

①すき間ふさぎ材取付け金具をすき間ふさぎ材の両端に【13-1】で取付けてください。（図3-4参照）
②すき間ふさぎ材取付け金具をすき間ふさぎ材の中間部に、V溝に合わせて【13-1】で取付けてください。（図3-5参照）

3.（つづき）

3-2　前枠・母屋・後枠の取付け

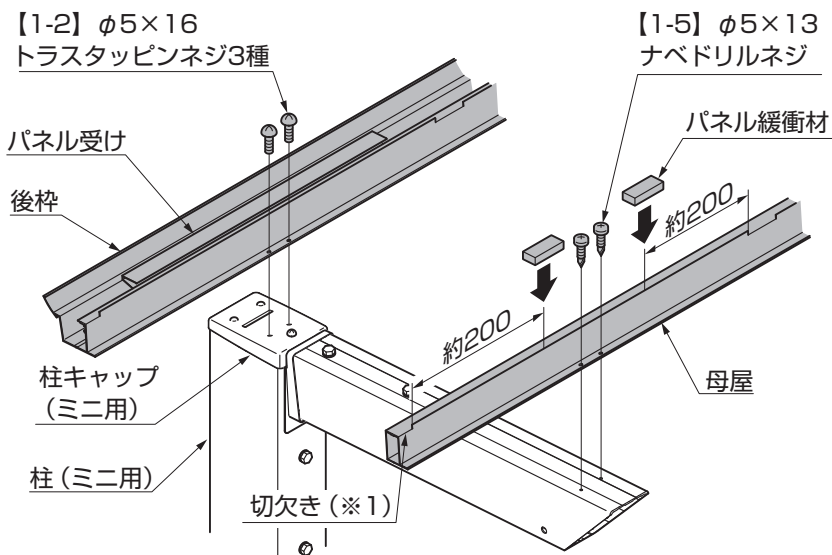



図3-6

①後枠を柱キャップに【1-2】で取付けてください。（図3-6参照）

ポイント

●パネル受けを後枠の切欠きと切欠きの間に均等になるように移動させてください。

②パネル緩衝材を母屋の切欠き（※1）から200mmの位置に貼付けてください。

③前枠側にフィン部を向けて、母屋を梁に【1-5】で取付けてください。（図3-6参照）

図3-7　図3-8

④前枠を梁に【1-5】で取付けてください。（図3-7、3-8参照）

ポイント

●柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋を梁に合わせてφ5.5の穴加工を行なってください。

●既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。

●独立テラスタイプで躯体すき間ふさぎ材 オプション を取付ける場合は、図3-9のようにすき間ふさぎ材を壁に当てがいながら取付けてください。

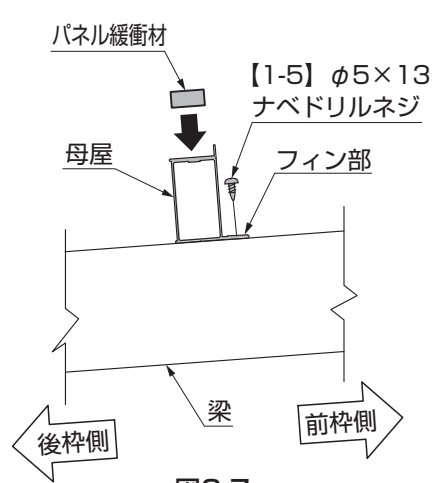
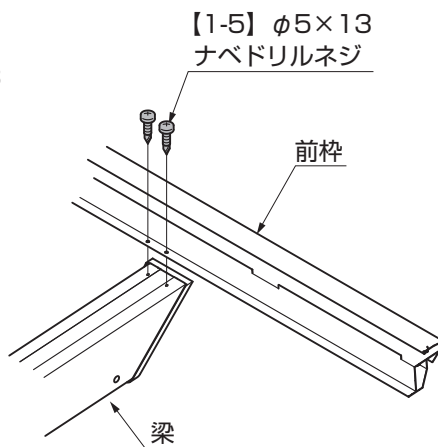
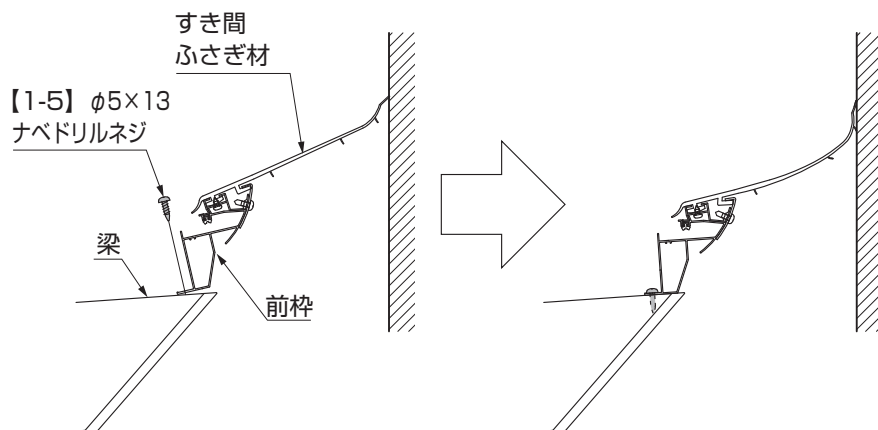
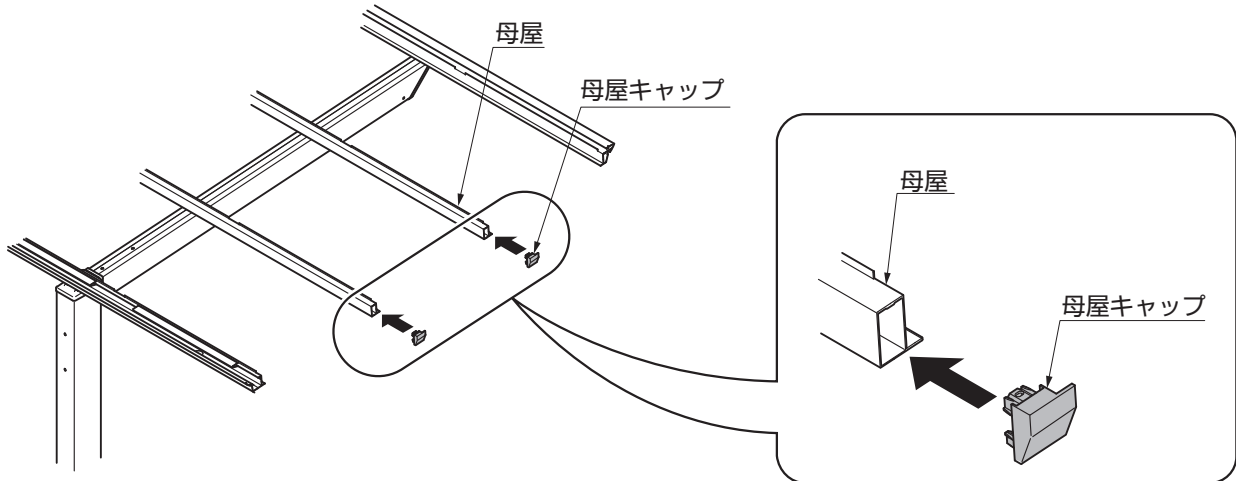



図3-9　躯体すき間ふさぎ材 オプション を取付ける場合

4. 母屋キャップ・側枠・アーチの取付け

4-1 母屋キャップの取付け ※プラス仕様の場合は取付けません。

①母屋に母屋キャップをはめ込んでください。

ポイント

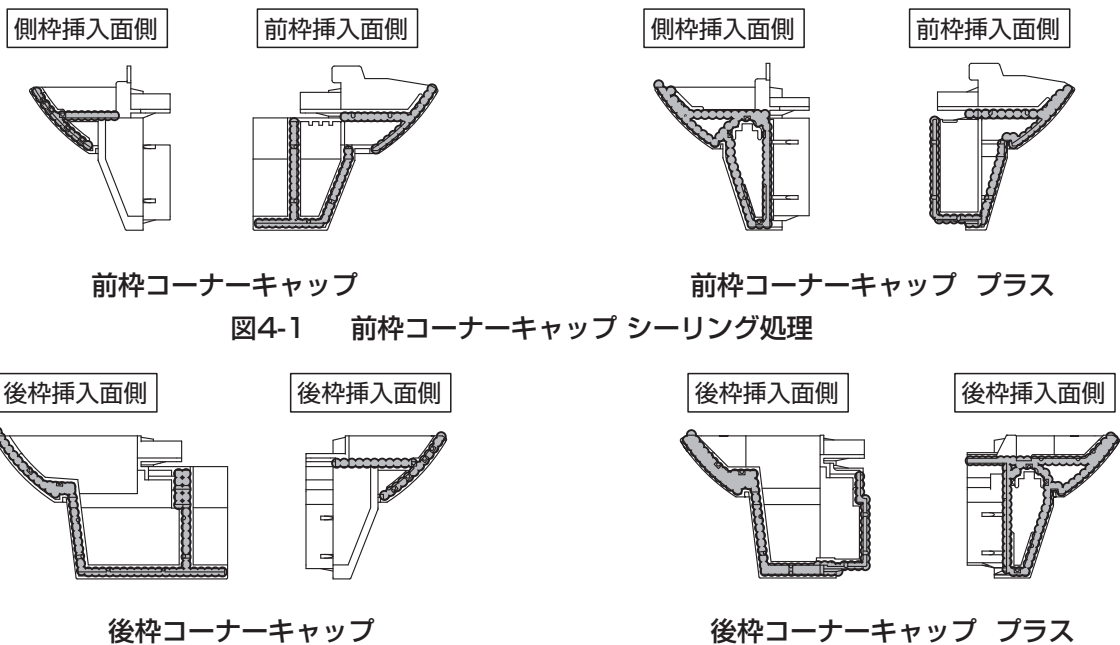
●母屋キャップは「4-2 側枠の取付け (2) 側枠の取付け」で固定します。

4-2 側枠の取付け

(1) キャップのシーリング

前枠コーナーキャップ

前枠コーナーキャップ プラス

図4-1 前枠コーナーキャップ シーリング処理

後枠コーナーキャップ

後枠コーナーキャップ プラス

図4-2 後枠コーナーキャップ シーリング処理

①前枠コーナーキャップ、後枠コーナーキャップにシーリングしてください。

ポイント

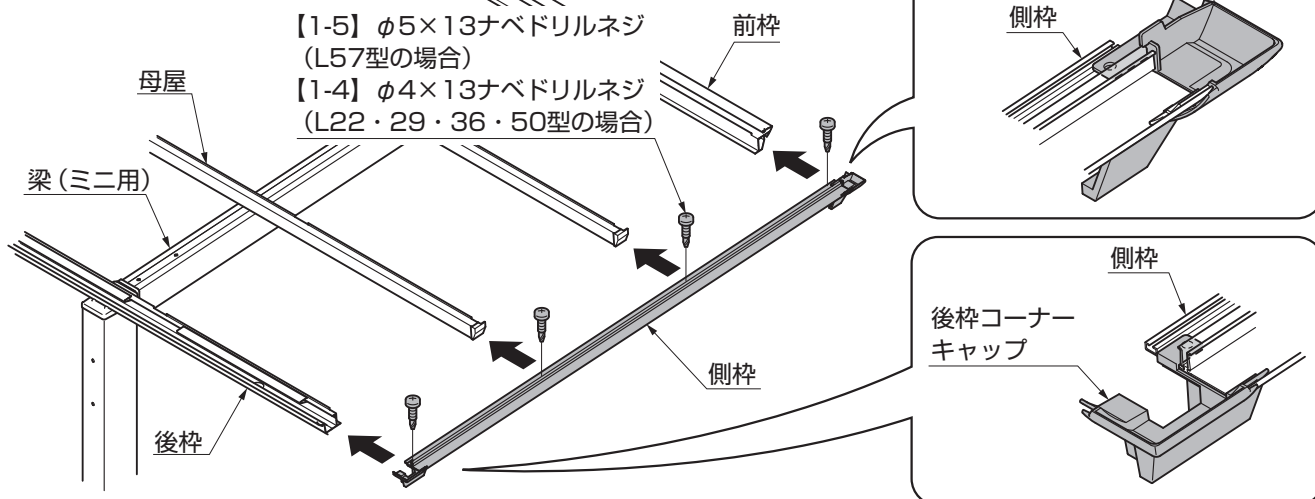
●プラス仕様の場合は、前枠コーナーキャップ プラス、後枠コーナーキャッププラスにシーリングしてください。

3 基本の施工方法

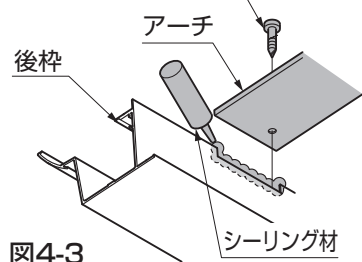
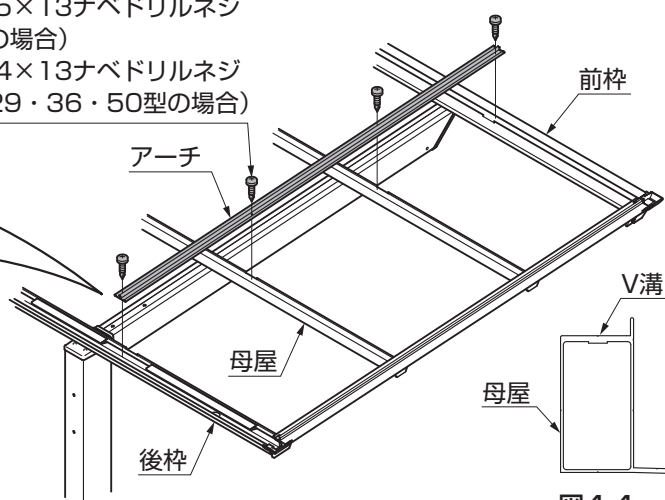
D526_201104A

4.（つづき）

4-2 つづき

（2）側枠の取付け

①前枠コーナーキャップ、後枠コーナーキャップを側枠にはめ込んでください。
②前枠・後枠・母屋に側枠R・側枠Lの穴を合わせて､L22・29・36・50型の場合は【1-4】で、L57型の場合は【1-5】で取付けてください。

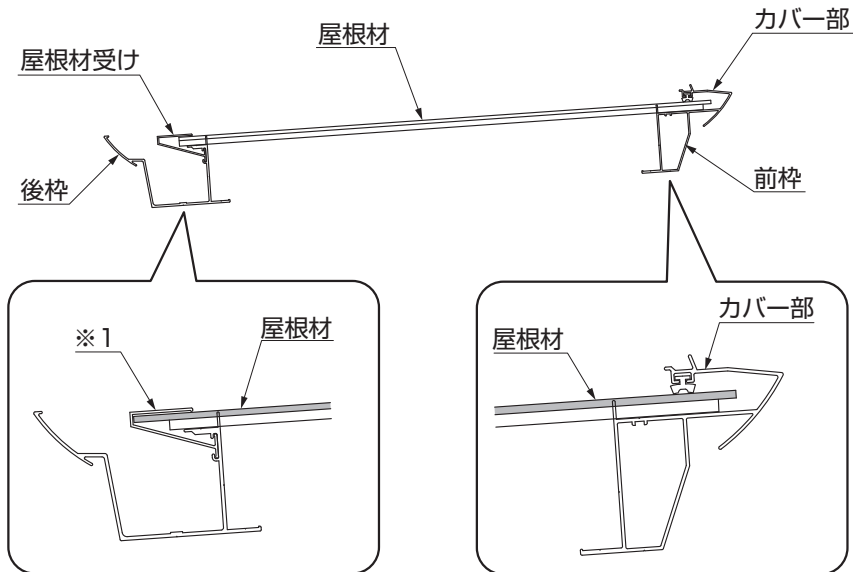
ポイント
- ●側枠を固定する際は、母屋と母屋キャップを共締めします。
- ●側枠は前後対称になっています。
- ●母屋上面のV溝（L57型は真中のV溝）に側枠の取付けネジを取付けてください。

4-3 アーチの取付け

ポイント
- ●アーチを取付ける前に、アーチと前枠、後枠の切欠き部にシーリング材を充てんしてください。（図4-3参照）
- ●アーチは前後対称になっています。
- ●母屋上面のV溝（L57型は真中のV溝）にアーチの取付けネジを取付けてください。（図4-4参照）

①アーチを前枠・後枠・母屋に､L22・29・36・50型の場合は【1-4】で、L57型の場合は【1-5】で取付けてください。
②屋根枠まわりの対角・水平および柱の垂直を出してください。

補 足
- ●前枠・後枠、母屋には加工穴はあいていません。

5. 屋根材の取付け

5-1 屋根材の取付け

①屋根材を前枠のカバー部に差込み、屋根材受けに差込んでください。

ポイント

- 屋根材は後枠側に突き当ててください。（※1）
- アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- 屋根材は必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

5-2 側枠カバー・アーチカバーの取付け

図5-1

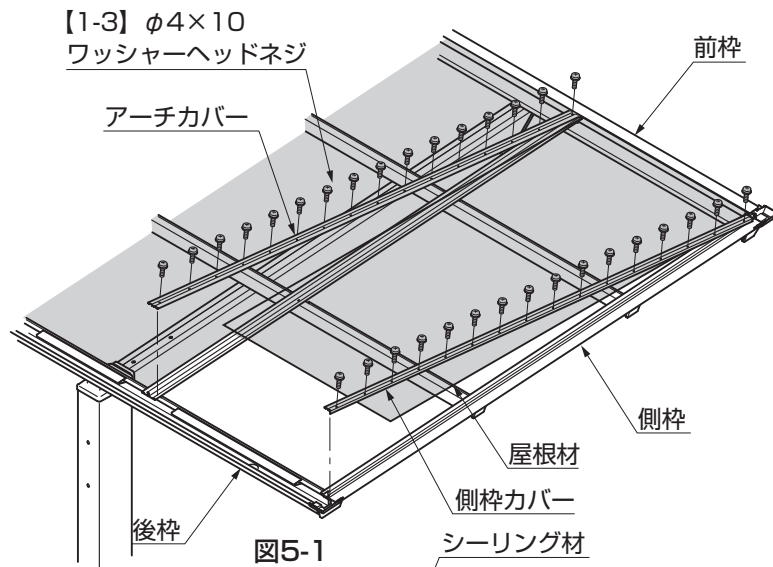
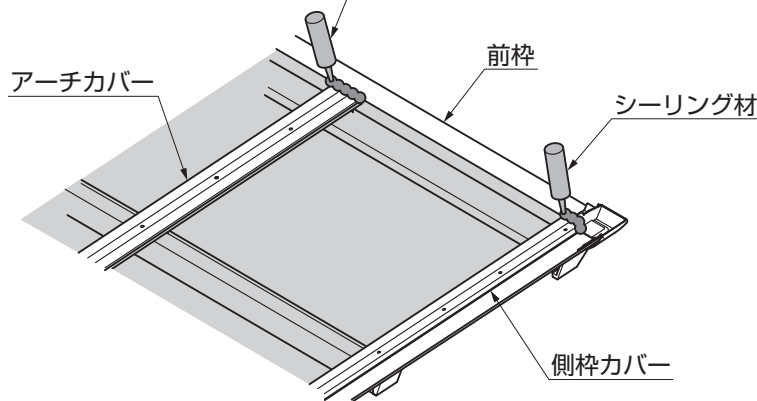



図5-2　シーリング箇所

①アーチカバー・側枠カバーを前枠に突き当てて、前枠側からアーチに【1-3】で取付けてください。（図5-1参照）

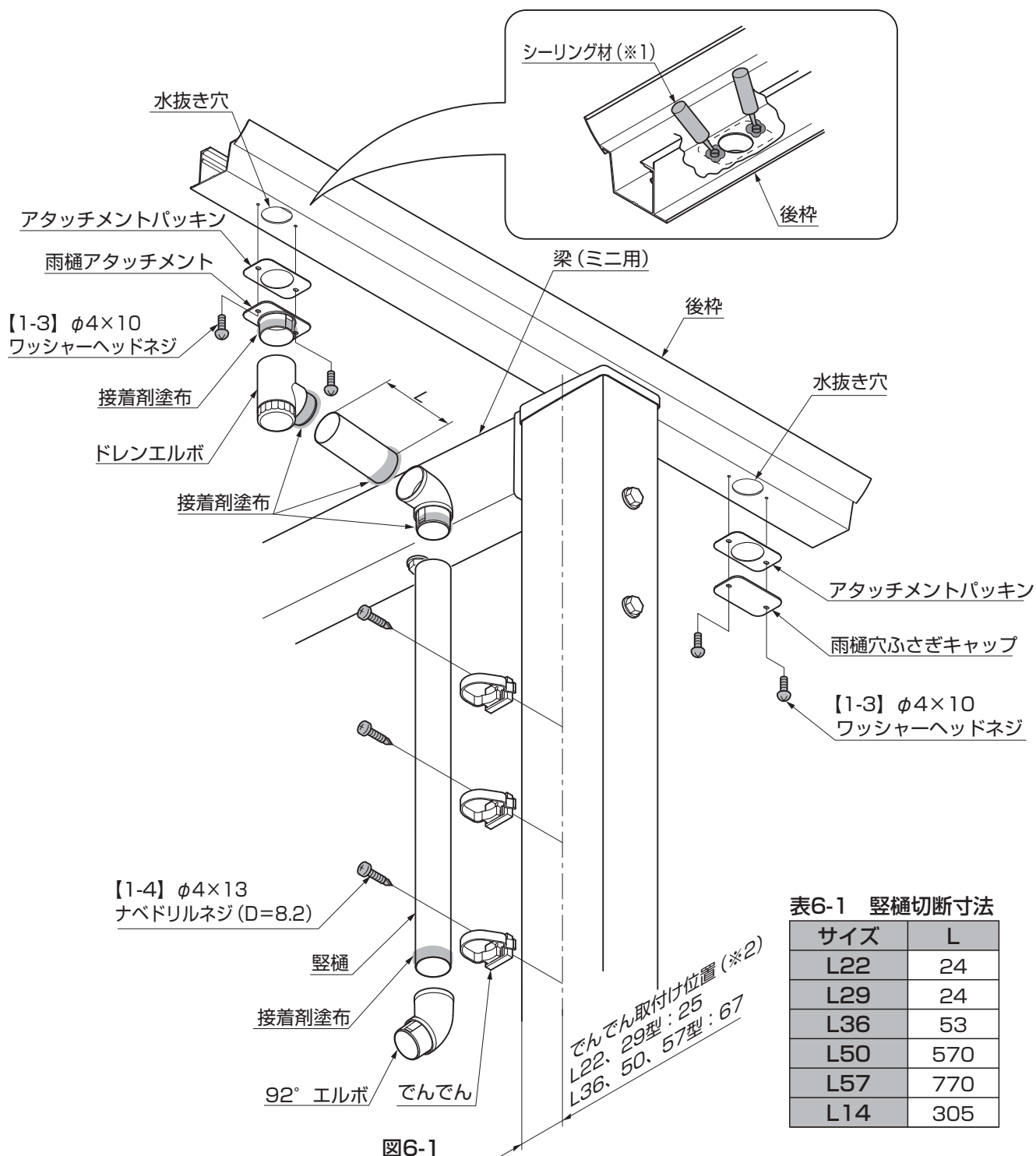
ポイント

- アーチとアーチカバーがかみ合っていることを確認してください。

②前枠とアーチカバーの間と前枠と側枠カバーの間にシーリング材を充てんしてください。（図5-2参照）

6. 竪樋の取付け

表6-1　竪樋切断寸法

サイズ	L
L22	24
L29	24
L36	53
L50	570
L57	770
L14	305

図6-1

①竪樋を切断してください。（表6-1参照）
②後枠両端の片方の水抜き穴にアタッチメントパッキンを【1-3】で、でんでんを【1-4】で、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、竪樋、92°エルボを接着剤で取付けてください。
③もう一方の水抜き穴に、アタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【1-3】で取付けてください。
④ネジ部にシーリングを充てんしてください。（※1）

ポイント

●L22、29型の場合、でんでんの取付け位置が異なります。（※2）

4　M合掌の施工方法

1. 基礎の施工

※サイクルポートタイプのみ施工可能です。
※（　）内寸法はプラス仕様の場合を示します。

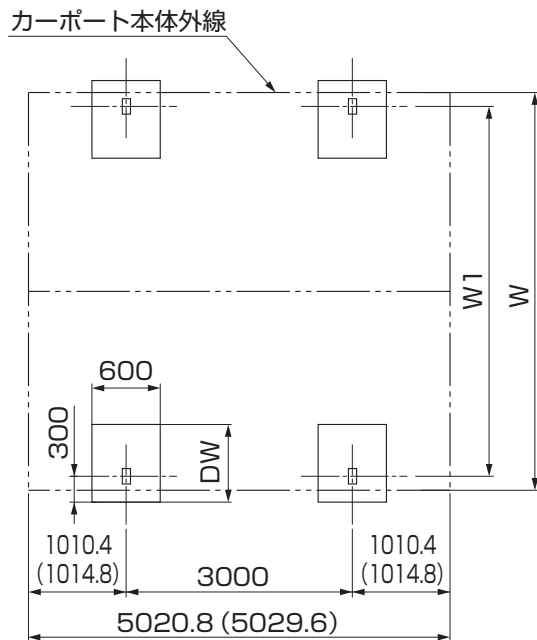



図1-1　L50型

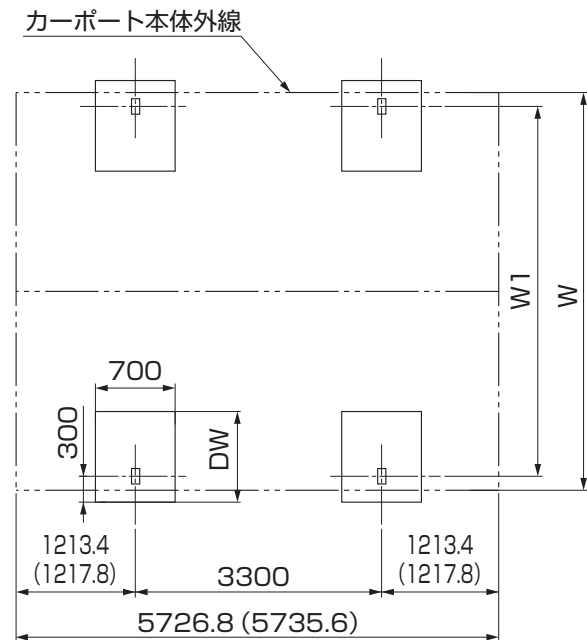



図1-2　L57型

表1-1　W寸法

サイズ	W	W1	独立基礎DW	併用基礎DW
W18+W18	3620.9	3488.4	600<700>	400
W18+W21	3920.0	3786.0		
W21+W21	4219.5	4087.0		

※<　>内寸法はL57の場合を示します。

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
●L22、29型の場合、柱を内側に移動することはできません。
●L36型の場合、柱を外側に移動できる寸法は20mmになります。

ポイント

●間口、奥行サイズにより基礎穴の大きさが変わります。
●W18+W21のW21側の柱は21mm深く埋込んでください。

2. 本体の組立て

2-1　合掌金具の組立て

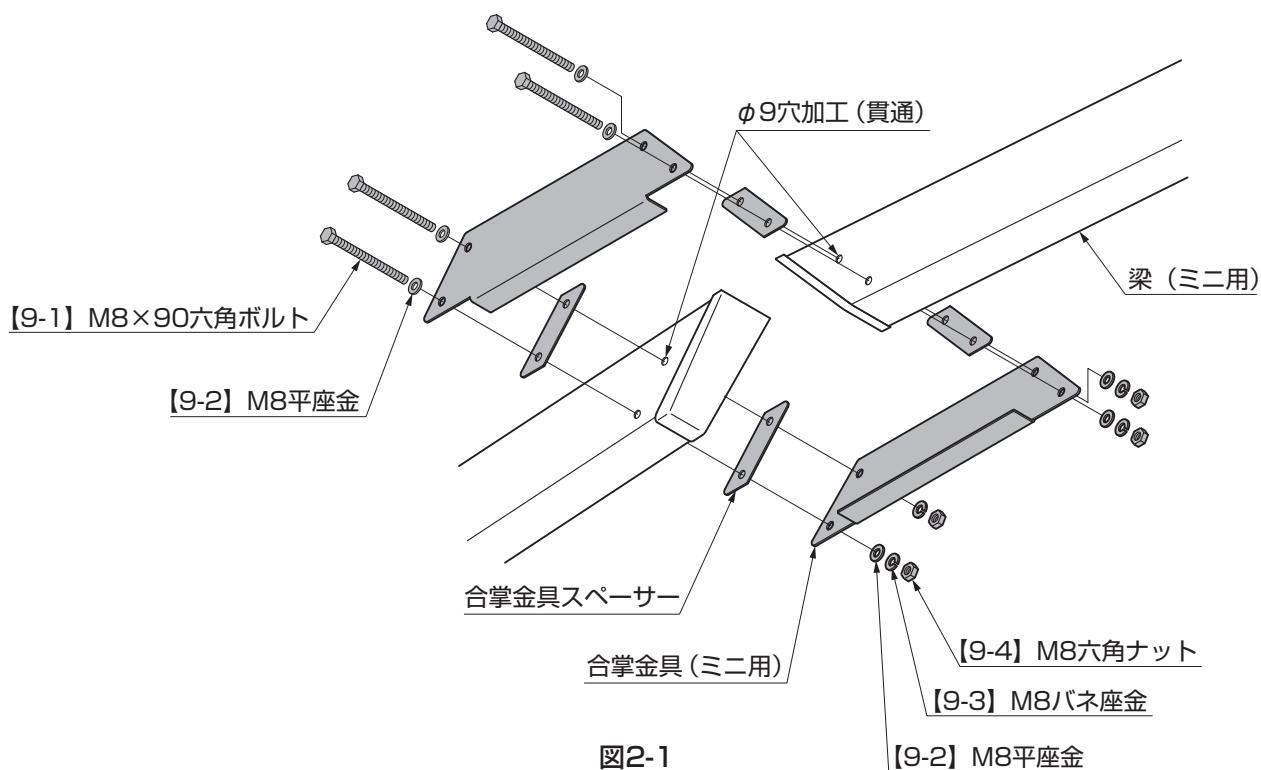



図2-1

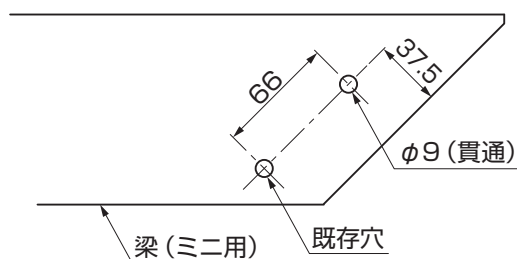



図2-2　梁の加工位置

①合掌金具の上部穴位置を梁へケガいてください。（図2-1参照）
②ケガいた穴位置にφ9の穴加工をしてください。（図2-2参照）
③柱梁を組立てて建込み、梁のプッシュボタンを外した後、梁と梁を合掌金具と合掌金具スペーサーで取付けてください。（図2-1参照）

補 足

●合掌部以外の取付けは、「3　基本の施工方法」を参照してください。
●前枠と前枠間隔は15mmであることを確認してください。（※1）

2-2　合掌棟木の取付け

合掌棟木
前枠
合掌取付材
【9-5】φ4×13ナベドリルネジ

図2-3

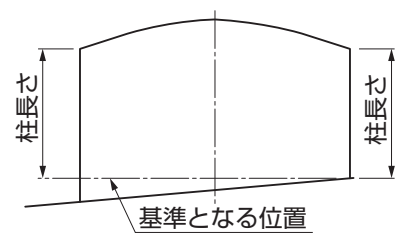
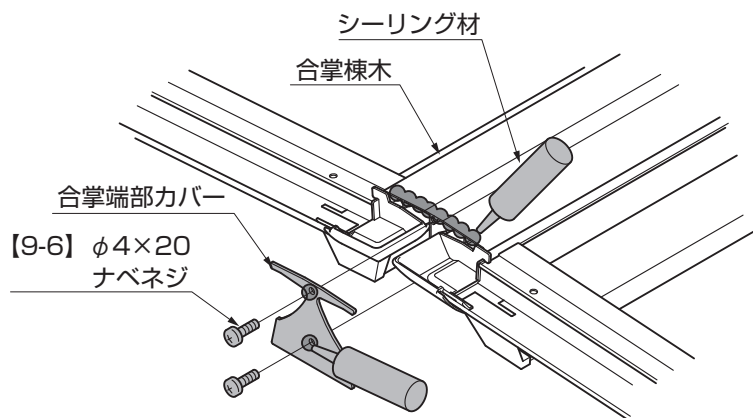
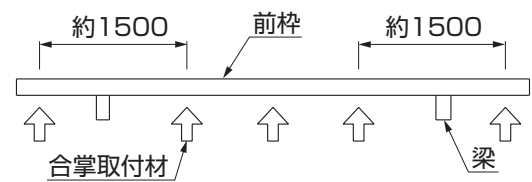
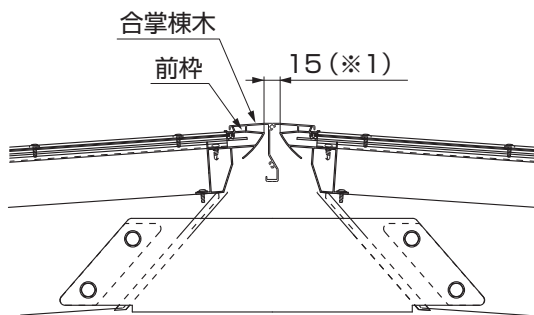
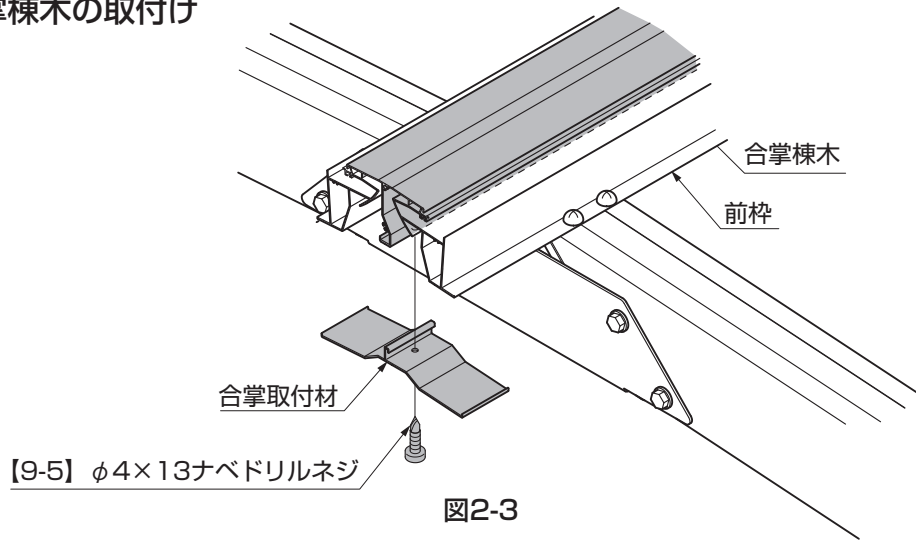
合掌棟木
前枠
15（※1）

図2-4

約1500
前枠
約1500
合掌取付材
梁

合掌取付材取付け位置

図2-5

図2-6

①合掌棟木を前枠と前枠の間に乗せて合掌取付材で固定してください。(図2-3参照)
②合掌端部カバー及び合掌棟木にシーリングし、合掌端部カバーを【9-6】で取付けてください。(図2-5参照)

ポイント

●柱は基準となる位置から同じ高さとしてください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。(図2-6参照)

5　縦連棟の施工方法

1. 基礎の施工　※（　）内寸法はプラス仕様の場合を示します。

1-1　L29、36、50、57型連棟

図1-2　L29+L36

図1-1　L29+L29

図1-3　L36+L36

図1-4　L50+L50

図1-5　L57+L57

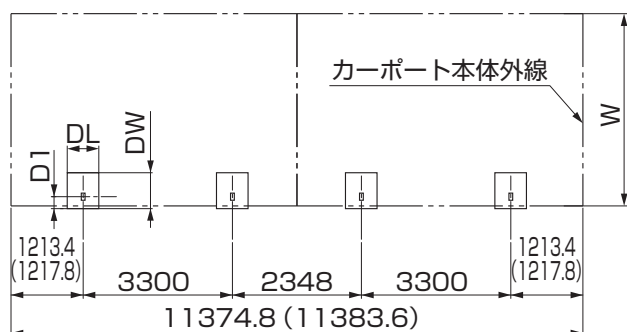
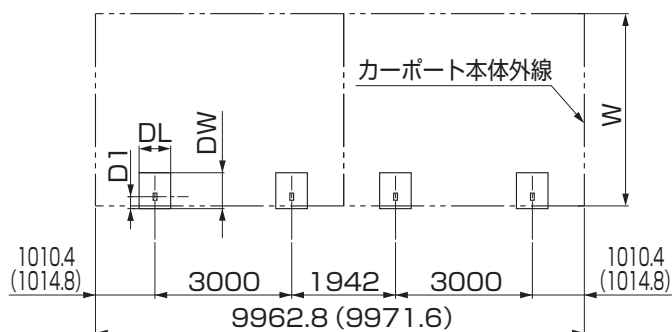
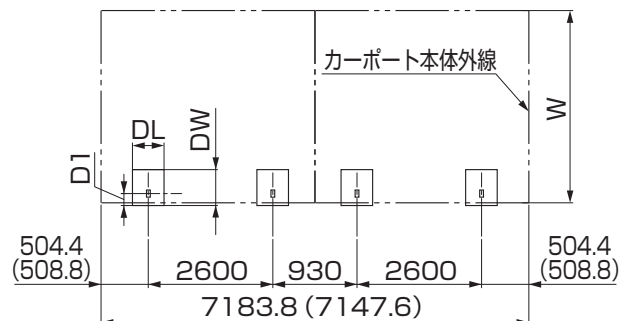
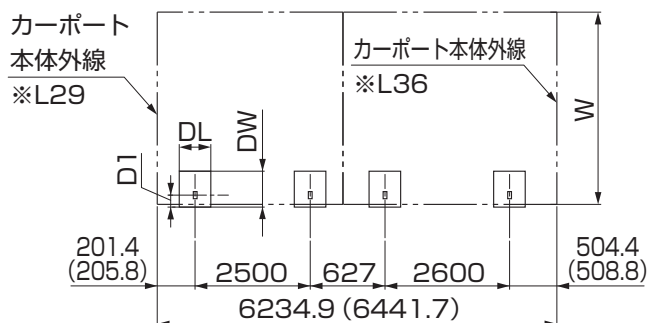
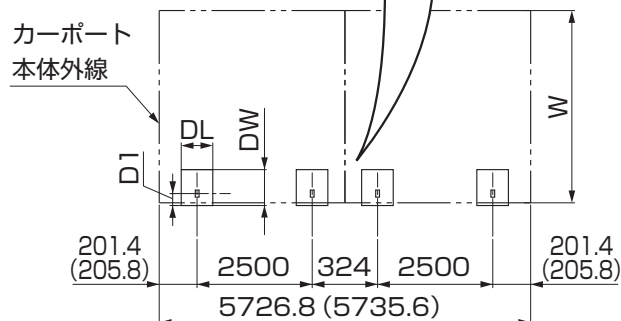
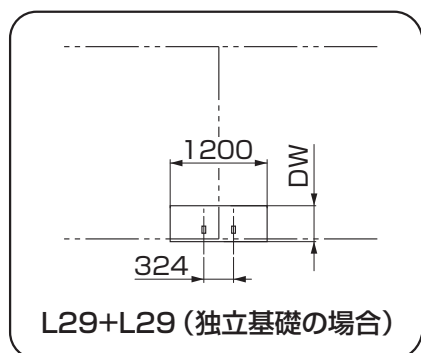



表1-1　W寸法と基礎寸法

サイズ	W	D1	DW		DL	
			独立基礎	土間コンクリート併用基礎	独立基礎	土間コンクリート併用基礎
W12	1203.2	250	500	400	600	300
W18	1802.7	300	600<700>	400	600<700>	300
W21	2102	300	600<700>	400	600<700>	300

※＜　＞内寸法はL57の場合を示します。

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

- ●基礎構造については「2 基本寸法と各部名称　2.基本寸法」を参照してください。
- ●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- ●L22、29型の場合、柱を内側に移動することはできません。
- ●L36型の場合、柱を外側に移動できる寸法は20mmになります。

D526_201104A

1-2　L14型連棟　※サイクルポートタイプのみ施工可能です。
※（　）内寸法はプラス仕様の場合を示します。

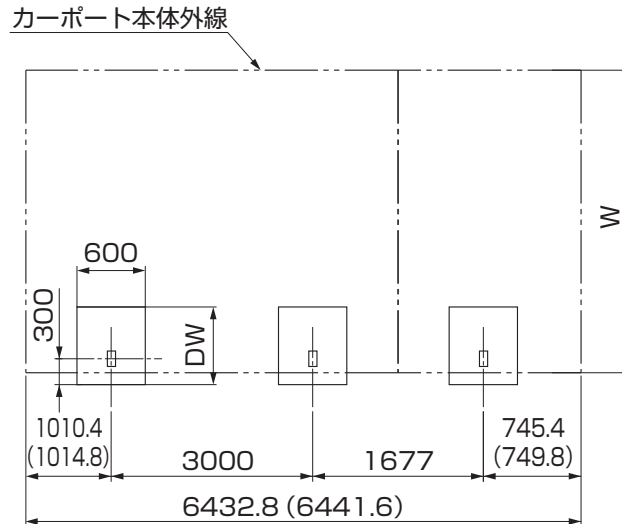



図1-6　L50

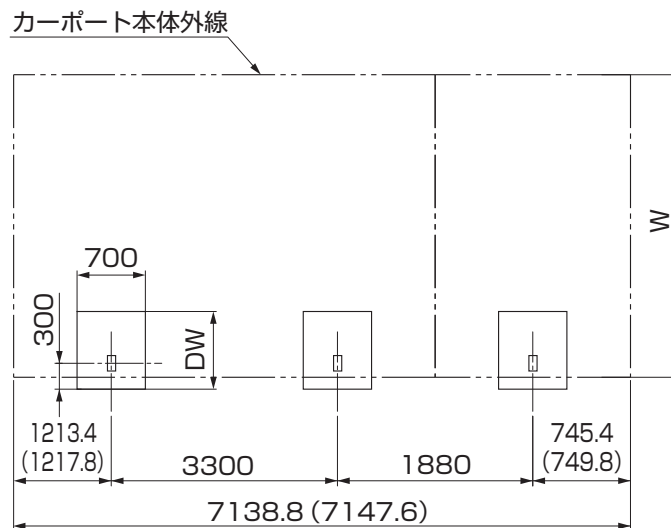



図1-7　L57

表1-2　W寸法

サイズ	W	独立基礎DW	併用基礎DW
W18	1802.7	600<700>	400
W21	2102		

※<　>内寸法はL57の場合を示します。

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

●基礎構造については「2 基本寸法と各部名称　2.基本寸法」を参照してください。
●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

2. 本体の連結

2-1 連棟部の加工

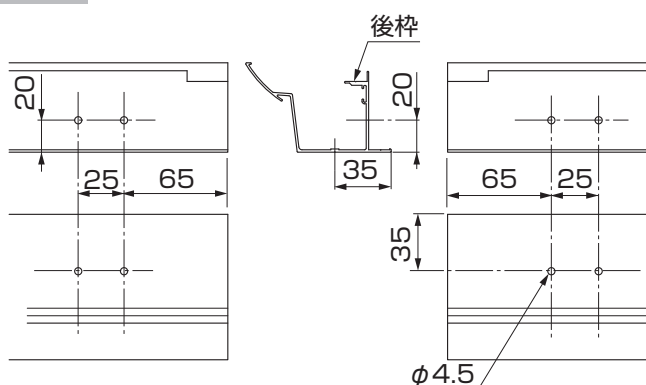



図2-1　後枠の加工

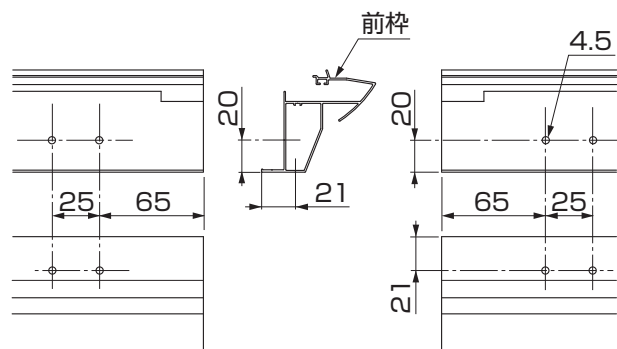



図2-2　前枠の加工

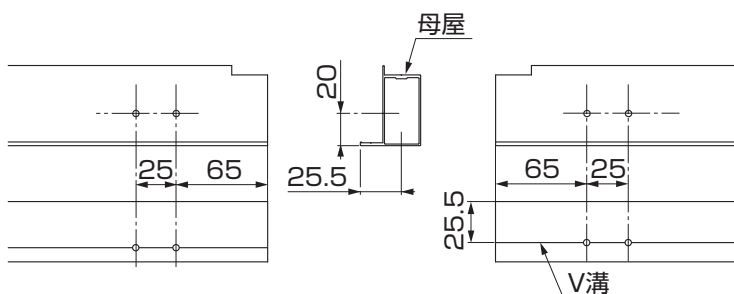
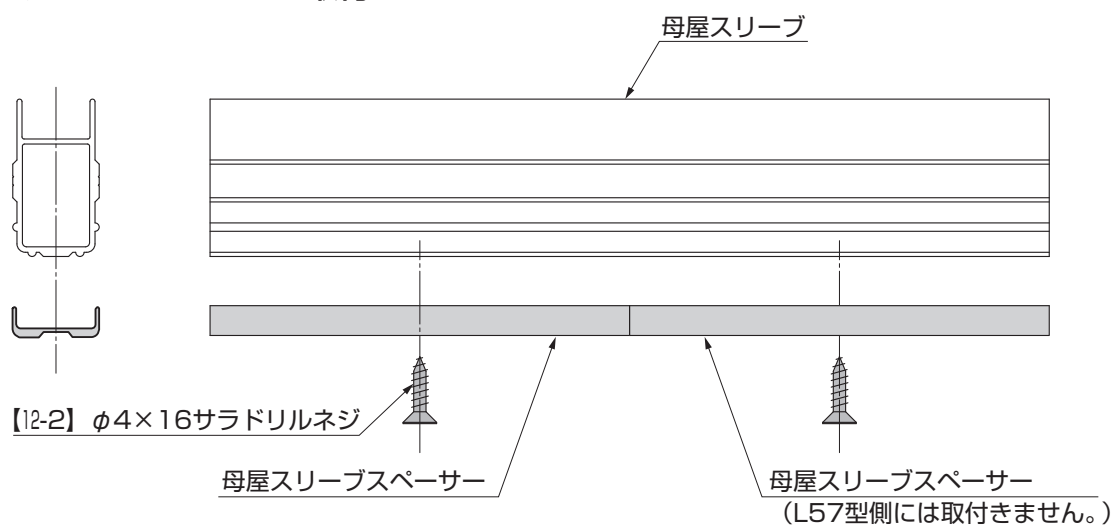



図2-3　母屋の加工

①後枠・前枠・母屋の連棟側を穴加工してください。（図2-1、図2-2、図2-3参照）

ポイント

●母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。

2-2 母屋スリーブスペーサーの取付け

ポイント

●L29、36、50型側またはL14型側に母屋スリーブスペーサーを取付けてください。
L57型側には母屋スリーブスペーサーの取付けは必要ありません。

2-3 すき間ふさぎ材の加工 オプション

≒23

すき間ふさぎ材 形材端部

前枠

連棟側

≒23

すき間ふさぎ材

≒23

前枠

前枠からはみ出た部分

前枠からはみ出た部分

前枠

切断

すき間ふさぎ材

≒23

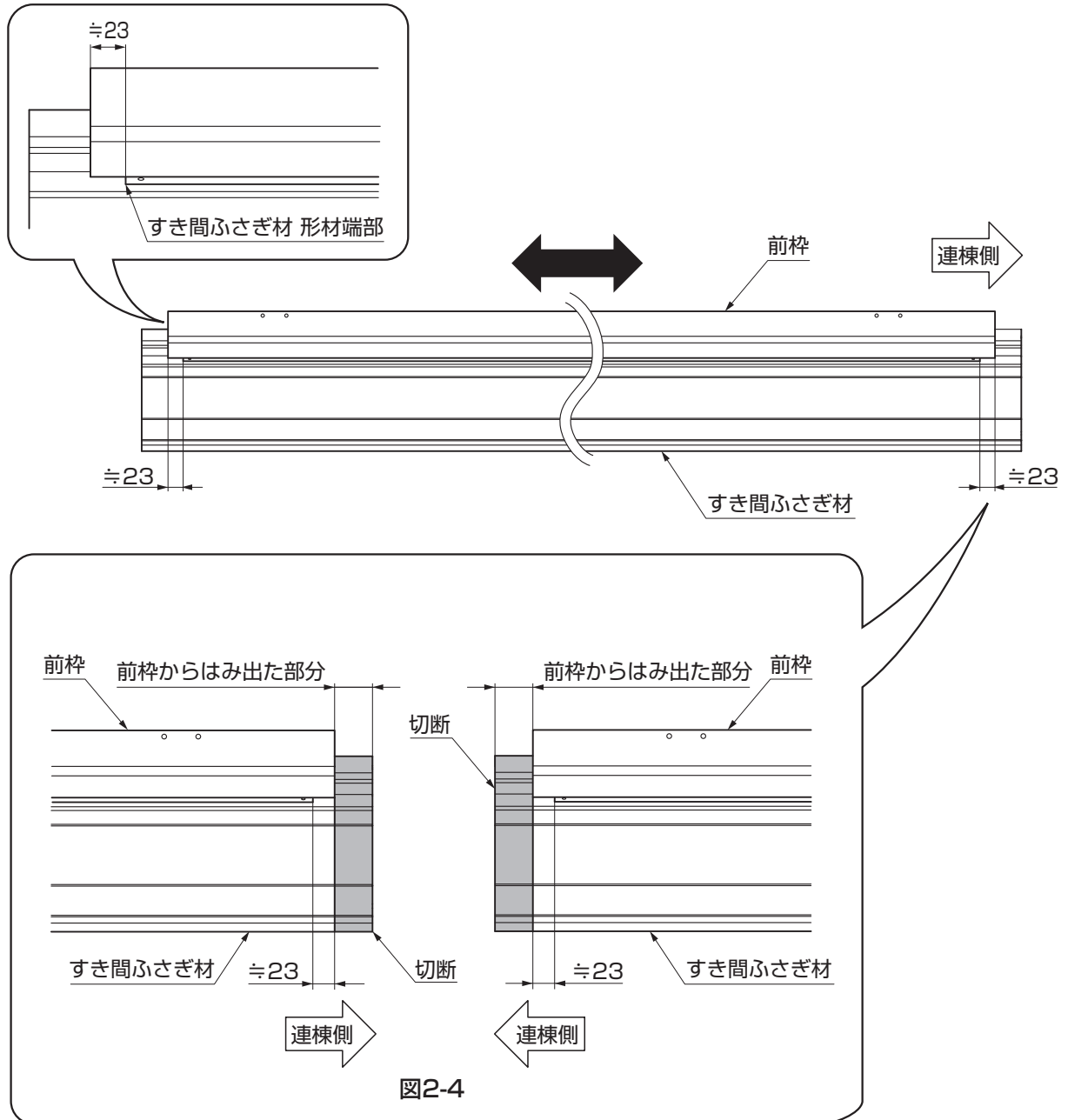
切断

≒23

すき間ふさぎ材

連棟側

連棟側

図2-4

①位置合わせをした前枠の端部からはみ出た分のすき間ふさぎ材を、切詰めてください。

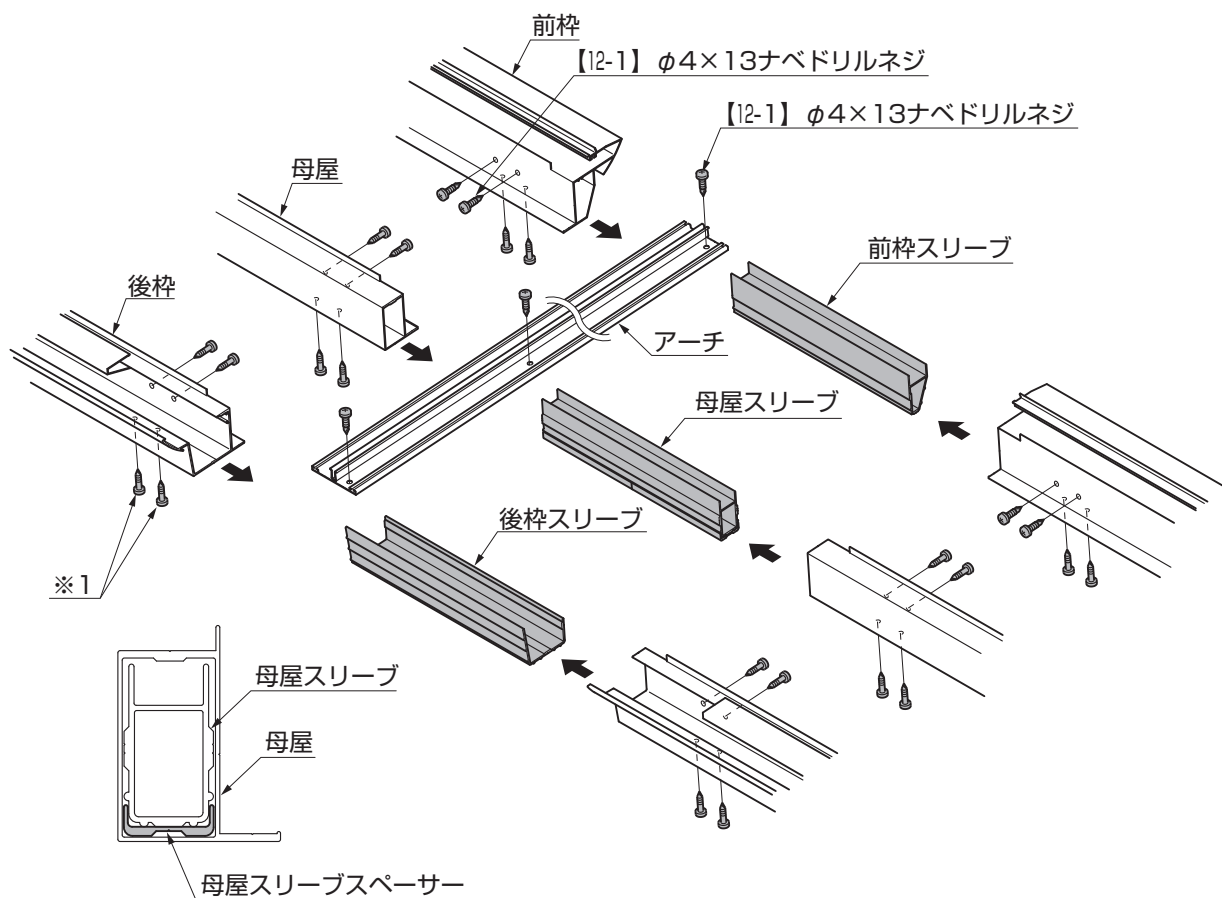
ポイント

●前枠の端部とすき間ふさぎ材の端部がぴったり合うよう、できるだけきれいに切断してください。

補 足

●すき間ふさぎ材の連棟部は、すき間ふさぎ材の小口どうしの突き当てになります。

2.（つづき）

2-4 連棟部の連結

※50型、36型、29型、14型母屋の連結には母屋スリーブと母屋スリーブスペーサーを組合わせて連結してください。
①後枠スリーブを取付ける【12-1】にシーリング材を充てんしてください。（※1）
②前枠・母屋・後枠にそれぞれ前枠スリーブ、母屋スリーブ、後枠スリーブを【12-1】で取付けて連結してください。
③全ての【12-1】の回りにシーリング材を充てんしてください。

補 足

●連棟部分以外の組立ては、「3　基本の施工方法」を参照してください。

2-5 シーリング処理

①連棟部分にシーリング材を充てんしてください。

D526_201104A